

# 58年秋募集

## 協力隊派遣受入希望調査表

昭和58年10月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9  
SE  
58-2

この合本を読まれる皆様へ

受入希望調査表のなかには要請国の要望（願望）だけが強調され、  
技術の範囲、程度等現場の実態についての記載が不足している場合が  
結構あります。

また、隊員の資格条件についても、必ずしも記載されているとおり  
ではなく、最終的にはかなり柔軟性がでてくる職種あるいは派遣国が  
ありますので、この辺のところをお含みの上ご一読下さい。

青年海外協力隊事務局



58年秋募集協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

職 種	要請数	国 名	調 査 表 の有無	ペー ジ	職 種	要請数	国 名	調 査 表 の有無	ペー ジ
101 食 用 作 物	1	フィリピン	有	1	106 果 樹	1	エチオピア	有	43
	1	P・ニューギニア				1	ケニア	有	44
102 稲 作	1	マレーシア	有	2		1	ザンビア	有	45
	1	ケニア	有	3		1	〃	有	46
	1	〃	有	4		1	〃	有	47
	1	〃	有	5		1	〃	有	48
	1	タンザニア	有	6		1	ボリビア		
	1	ザンビア	有	7	112 き の こ	1	ネパール	有	49
	1	ガーナ	有	8	115 病 虫 害 料	1	ペル	有	50
	1	セネガル			116 土 壤 肥 料	1	コスタリカ	有	51
103 園 芸 作 物	1	スリ・ランカ	有	9		1	ボリビア	有	52
	1	〃	有	10		1	〃	有	53
104 花 き	1	ホンジュラス	有	11		1	P・ニューギニア		
	1	パラグアイ			120 農 業 土 木	1	マレーシア		
105 野 菜	1	フィリピン	有	12		1	ネパール	有	54
	1	マレーシア	有	13		1	ケニア	有	55
	6	〃	有	14		1	タンザニア	有	56
	1	バン格拉デシュ	有	15		1	ザンビア	有	57
	1	ネパール	有	16		1	〃	有	58
	1	〃	有	17		2	ペル	有	59
	2	エチオピア	有	18	125 農 業 機 械	1	フィリピン	有	60
	1	ケニア	有	19		1	マレーシア	有	61
	1	〃	有	20		1	〃		
	1	ザンビア	有	21		1	バン格拉デシュ		
	1	〃	有	22		1	〃		
	1	セネガル	有	23		2	シリア	有	62
	1	〃	有	24		1	ガーナ		
	1	〃	有	25		1	コスタリカ	有	63
	1	〃	有	26		1	パラグアイ	有	64
	1	コスタリカ	有	27		1	ボリビア	有	65
	2	〃	有	28		1	フィジー		
	1	ホンジュラス	有	29	141 家 畜 飼 育	1	フィリピン	有	66
	1	〃	有	30		1	スリ・ランカ	有	67
	1	〃	有	31		2	〃	有	68
	1	パラグアイ	有	32		1	ザンビア	有	69
	1	〃	有	33		3	パラグアイ	有	70
	1	〃				1	ボリビア	有	71
	1	ボリビア	有	34		1	P・ニューギニア		
	1	〃	有	35	142 養 鶏	1	スリ・ランカ	有	72
	1	〃	有	36		1	マラウイ	有	73
	1	〃	有	37		1	パラグアイ	有	74
	1	〃	有	38		1	ボリビア	有	75
	1	〃				1	〃		
106 果 樹	1	フィリピン	有	39	145 獣 医 師	1	フィリピン	有	76
	1	バン格拉デシュ	有	40		3	シリア	有	77
	3	ネパール	有	41		3	〃		
	1	〃	有	42		1	タンザニア	有	78
	1	シリア				1	〃	有	79

職 種	要 請 数	国 名	調 査 有 無	ペ ー ジ	職 種	要 請 数	国 名	調 査 有 無	ペ ー ジ
145 獣 医 師	1	ザ ン ビ ア	有	80					
	1	〃	有	81					
	1	〃	有	82					
	1	〃	有	83					
	1	セ ネ ガ ル	有	84					
	1	パ ラ グ ア イ	有	85					
152 漁業協同組合	2	ホ ン ジ ュ ラ ス	有	86					
153 村落開発普及員	1	ザ ン ビ ア	有	87					
160 食 品 加 工	1	パ ラ グ ア イ							
	1	ネ パ ー ル	有	88					
	2	〃	有	89					
	1	シ リ ア							
161 農産物加工	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	有	90					
	1	〃	有	91					
	1	ボ リ ビ ア	有	92					
166 水産物加工	1	マ レ イ シ ア							
	1	コ スタ リ カ	有	93					
173 生 態 調 査	1	マ レ イ シ ア							
181 漁 具 漁 法	1	パ ラ グ ア イ							
	1	フ ィ リ ピ ン	有	94					
	1	〃	有	95					
	1	〃	有	96					
182 養 殖	1	〃	有	97					
	1	シ リ ア							
	1	ソ ロ モ ン 諸 島							
	1	セ ネ ガ ル	有	98					
	1	フ ィ リ ピ ン	有	99					
	1	マ レ イ シ ア	有	100					
	1	〃	有	101					
	1	ネ パ ー ル	有	102					
	1	〃	有	103					
	1	シ リ ア							
192 水 産 統 計	1	ケ ニ ア	有	104					
	2	ザ ン ビ ア	有	105					
	1	セ ネ ガ ル	有	106					
	1	コ スタ リ カ	有	107					
	1	フ ィ ー ジ ー	有	108					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 8月 日

101 養用作物

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Food crop	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College  
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Alubijid College of Agriculture  
Office of DMMMPSC 日本語名称 ( )  
所在地: Lourdes, Alubijid, Misamis Oriental 主要都市からの距離 (Cagayanより36キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本校は main campus に 工学, 家政, 体育系の学部およびいくつかの短期コースもあり, さらに分校には 農業, 水産, 林業, 工業, 看護婦養成などの学部がある。隊員はその分校の一つに配属される。

ニ. 設備概要: 学生数は約70名。農業教育学科および農学科が設置されている。農場は約10ha。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 大学の教官
- ② 技術の範囲: 講義, 農場管理, 事務, 飼育, 畜産
- ③ 業務の形態: 講義, 農場実習
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準  
学歴及び年齢: 対象者は学生, カウンターパートは大学の教官, すべて大卒, 分校長は修士修了, 年齢は22才~48才, 知識は豊富で, 技術水準も比較的高いが, 日本の技術からすれば, 改善され得る余地は充分にある。
- ⑤ 現地で利用できる機械材: 非常に未整備で, 一般の農具が少く, 教科書教材とも極めて不足している。
- ⑥ 職場に於ける第3国人及び日本専門家の配置状況: 無し。
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンにおいては, 日本と異なり 農業は産業として高く評価されており, 教育を通じて優秀な農業技術者を育成しようとする意向がみられる。日本の高生産性農業から学ぶところが多いといわれている。しかし配属先が大学という点もあり, 隊員は食用作物のみならず 農業一般についてある程度の農業以外に関する幅広い知識をもちいると, 活動内容がずと豊かになると思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴 (大卒以上)
- ② 取得資格 とくになし
- ③ 実務経験 とくに問われないが, あれば, とよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 2月 18日

調査者氏名 谷川 与志雄

102 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (マラヤ)	(現地公用語) Rice Culture (日本語) 稲 作	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	59年2月	
(1) 配属先 (Rural Development Corporation)					
① 配属先名称(現地公用語): Korporasi Pembangunan Desa (K.P.D.) (日本語): 地方開発公社					
② 隊員勤務先名称: Lagud Sebrang Development Scheme 日本語名称(ラグドセブラン開発計画) 所在地: c/o. K.P.D office, P.O.Box 99, Tenom 主要都市(テナム)から15キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本による地方開発の目的で農業、水産開発の監督とこれに関連して地方開発を行って来り事業組織。中各地方多数のプロジェクト(主に農業)を実施している。同プロジェクトは耕地面積約1000エーカーが予定されており、既に約700エーカーの耕地開墾が完了している。併行して約220エーカーのプロジェクトも進んでいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 宿舍8戸、17-73077、軽便橋等が既に設置されており、 米穀各種倉庫(装載格納、肥料、農業資材等)、大型軽便橋及び事務所、7-73077の拡張、宿舍の増設、機械等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Agriculture Technician (Project Officer)					
② 技術の範囲: 1) 水稲の乾田直播き、水後の灌水方法の指導を行う。2) 水稲の田植えによる栽培方法に必要育苗法及び植付け方法、水後の栽培管理、ハト-プロジェクトと豆科緑肥作物を主体とした田間施肥法					
③ 業務の形態: 1) 同プロジェクトにおいて水稲両方の作物の栽培を行う 2) 併せて、米の技術について同プロジェクトに協力し指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: プロジェクトマネージャー、農業専門家20名、プロジェクトマネージャー、農業専門家20名 (詳細別添)					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型トラクター、大型コンバインハーベスター、大型フルーク、エスカレーター等 (詳細別添)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 台湾専門家 (Mr. 吳振能)					
⑦ 使用する言語: 英語とマレー語 (訓練はマレー語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同K.P.D.は同地方に多数のプロジェクトを抱えているが、特に技術者の不足からプロジェクトの運営が滞りつつあるという現状である。同プロジェクトは昨年8月にK.P.D.の執行計画開始以来約12人、設備とコストの拡充途上である。そのため、技術及び農業開発のプロジェクトを助言し、その実現の指導を行っている。実務経験豊かな技術者の支援を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○農業大学卒業程度 ○実務経験者(1~2年程度)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 28 日

調査者氏名 JCCV/JICA ナイト事務所

102 稲 作

新川 寛之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) RICE CULTURE (日本語) 稲作	<del>新規</del> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	59年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kisumu District Agricultural Office, Ministry of Agriculture (日本語): 農業省 キスウム地区農業事務所					
② 隊員勤務先名称: Divisional Extension Office 日本語名称(村の農業事務所) 所在地: キスウム地区内の3つの村 {キスウム Kisumu 主要都市(キスウム)から 50 キロメートル以内} {Tala Akera} {Nyabond					
③ 事業規模及び内容: Divisional Extension Office は 農業省内の 未開の 指導機関で ティウイワシ内の 農民に 対する 普及活動を行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所内の 室数は 1~2。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Rice Officer (District Agricultural Office の エキスパート)					
② 技術の範囲: 稲作の 全般的技術。 時には 病虫害に 関する 知識と 水陸設計の 技術が 必要と される こともある。					
③ 業務の形態: 古くは 現場(稲作地)に 出て 農民に 直接指導 又は 農家の 巡回指導 2週間毎に 1日ずつ ティウイワシ ごと 普及員(Technical Assistant) に 講義形式で 指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農民(学歴は 殆ど 無い)。 小学校 卒業程度。 普及員: 農業高校 卒業程度。 20~30才。 学歴も 程度 異なる。					
⑤ 現地で利用できる機材: ハンドトラクター。 牛耕用のみ。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。 但し 稲作公社(NCB)の 日本人 専門家、 普及員(PLU)の 配置あり。					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語。 英語。 (オランダ語 専門家と 話す こともある)。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: キスウム地区(ティウイワシ)内には 約 20ヶ所(約 250ha)の 小規模稲作地があり 政府は WEST 地域の 稲作地に 力を入れているが、 稲作に 関する 知識・技術と 有する ケニア人 技術者は 極めて 少ない。 このため 農民への 直接指導と 知識・技術 普及者の 育成と 期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 稲作地での 業務経験 を 有すること。 農業高校 卒業程度 の 知識が 必要。 (前記に 補充設計)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名 JOCV/JICA 加盟事務所  
 村上 幸一

102 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) RICE CULTURE (日本語) 稲作	新規 <u>交替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	69年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: District Agricultural Office 日本語名称(ケニア) 農業事務所 所在地: P.O. Box 19, Kilifi 主要都市(ムバサ)から 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: Kilifi District 内の農業開発に肉する全般業務					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所3室, タイプ室1室, 管理室					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: District Rice Production Officer					
② 技術の範囲: 稲作, 農業普及に肉する一般技術					
③ 業務の形態: 農民への技術普及活動 & 職員(Technical Assistant)への技術指導, District 内稲作に肉する全般業務 稲作地開発プロジェクトの遂行					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農氏: 25~50才, 初等教育終了程度 普及員: 23~42才, 技術専門学校教育程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 公用車, 政府伏用農機材(鋤, カマ, シヤトルなど)					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ平和部隊隊員, イギリスボランティア					
⑦ 使用する言語: 英語, スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 米の消費量が伸びているにもかかわらず稲作技術が 低いため生産量が少なくコスト地域でケニアには最大の農地面積を 多くの稲作可能地を有している。政府はこの地区の水利拡大と稲作 技術の発展に期待が大きい。(2村あり)					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>英語力</u> <u>自動車運転免許</u>					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 13 日

調査者氏名 JICA ナビエ事務所  
阿部 亮子

102 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) RICE TECHNICAL OFFICER	新規	(男) 1 人	59年7月	
	(日本語) 稲作技術者	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): TAITA TAVETA AGRICULTURAL OFFICE  
(日本語): 農業省 919-919 支局
- ② 隊員勤務先名称: TAVETA DIVISIONAL EXTENSION OFFICE 日本語名称 (919 農業事務所)  
所在地: TAVETA DIVISION, TAITA/TAVETA DISTRICT 主要都市 (モシバサ) から 300 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農業事務所は職員 10 余名から成り、農民達にバタ、  
メイヌ (とうもろこし)、棉、稻、その他の作物の栽培技術を指導している。  
タベタ地区内の水田面積は約 70 エーカーである。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 稲作技術者 (RICE TECHNICAL OFFICER)
- ② 技術の範囲: 肥料、農薬、その他機械は殆んど使用せず、慣行栽培が  
主であるので、そこから派生する問題点の改善が必要である。
- ③ 業務の形態:  
単産による各稲作農家への巡回指導。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 知識は高いが技術は極めて低い  
が、短大程度の学歴を有している。年齢 24 ~ 55 才。

⑤ 現地で利用できる機材: 田起し車等の導入も考えられるが、農民はそれを使用  
する段階には達しておらず、稲刈鎌等の道具が乏しいのである。

⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ平和部隊員 1 名

⑦ 使用する言語: スワヒリ語及び英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 稲の作付面積は 70 エーカーとまだ少ないが  
未開の遊地帯での可能性は、まだこれから栽培面積の拡大は  
大いに期待できる。タベタは半乾燥地帯であるが、農林省はこの地区  
の遊地帯利用に力と述べている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 自動二輪免許。  
スワヒリ語学習に積極的な人。体力が健康な人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 9月 10日

調査者氏名 高川浩史

102 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) Rice culture	新規	(男) 1人	59年8月	
	(日本語) 稲作	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): National Agriculture and Food Cooperation  
(日本語): 国家農業食糧公社

② 隊員勤務先名称: Mbarari Rice Farm 日本語名称(ムバラリ=稲作農場)  
所在地: ムバラリ 主要都市(ダラ)から800キロ

③ 事業規模及び内容: 3200ヘクタールの米作農場に米生産を行っているほか、その他に米、アワ、鶏の飼育等も余剰農産物利用の観点から実施している。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容 新品種導入 耐病稲の試作 及び 試験栽培のデータ収集

① 隊員の業務上の地位: 農業技術師

② 技術の範囲: 稲の試験栽培及びデータ収集

③ 業務の形態: 現場型であり、試験場の石炭割も必要。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農場長がカリフォルニア州出身の地産作業員

⑤ 現地で利用できる機材: 稲の品種改良に必要ない。

⑥ 第3国人等の配置状況: 中国人(中国の務師に出身の者あり)。

⑦ 使用する言語: 英語及びスワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在IR第8号を中心とした栽培には他に良い品種を輸入したい。  
(ムバラリ試験栽培の成果が農業生産に結ぶために期待は大きい)。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

試験栽培に必要ない科学的・技術的データ収集から必要ない。  
農業経験は大学卒業後特許取得は必要ないが期待は込められたい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 日

調査者氏名 中垣長自

102 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンボジア	(現地公用語) Rice Culture (日本語) 稲作	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture & Water Development					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture Water Development (日本語): 農業水源(局)開発省農業局					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture, Western Province 日本語名称(西部州農業局(米局)) 所在地: Kalaba 語 主要都市(Mongu)から約550キロ					
③ 事業規模及び内容: 西部州農業局は農業開発省の管轄下にある。同局は作物一般、畜産生産と関係し、州農業局長以下200人の人員を擁する。うち40人が行政、160人が農業者各に從事している。同州は6つのDistrictに分かれ、各Districtは6つのSub-Districtに分かれ、さらに					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 各Sub-Districtは各のCampに分けられ、着員が配属されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 西部州農業局の稲作技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 稲作についての一般的知識・技術、イモ牛病に対する知識・防疫対策、(当地では水陸両田型の品種も多用で刈取機も使っているため陸揚の受け皿をにんじ)					
③ 業務の形態: Kalaba 地区(District)に入り、州農業局の農場(農家から借りる。あるいは農家にアシスタントとして農場を借り一緒にする場合もある)で、実際に稲作プロジェクトを作り、州の農業者各員を現地に指導するプログラムを <del>通</del> 州の農業者各員と共に農家へ稲作の普及を働きかけていく。また場合によっては <del>地</del> 地区の稲作プロジェクトの指導にも出かけていく。同州は当国における稲作の成長の一ツデあるが、まだVこのことから、まだ稲作を普及していくことが大きな仕事					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Districtの長はForm 5 卒業3年の専門教育を、技術者各員はForm 3 or Form 5 (中学或高校) 卒業、2年の専門教育を受けている。					
⑤ 現地で利用できる機材: あまりない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: プロジェクトを組んでオララ人専任者が稲作を行って3年ほどになる。					
⑦ 使用する言語: 英語, Lozi					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西部州は農業開発の遅れている地域であるが、国際河川ザンベジ河流域を利用した稲作の普及、果樹の生産(カキン類、カニョーツ)、畜産での件別、筆致、官能の導入、飼育技術の改善、カニカイ調査等を重要な課題としている。しかし、いまだにこれを実施するための技術者の不足に悩んでおり、協力隊員の力を求めているものである。同州はザンベジ河流域平原に稲作を拡大するべく一歩を踏み					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) 大学卒業以上、英語経験あり、将来にわたる期間。農業大学校あるいは短大卒業以上、英語経験あり、将来にわたる期間。					
(2-3年以内)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 15 日

102 稲

作

調査者氏名

金山昌功

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語)	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 稲作	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Nasia Rice Co L.T.D					
(日本語): ナシアライスカンパニー					
② 隊員勤務先名称: Nasia Rice Co L.T.D 日本語名称(ナシアライスカンパニー)					
所在地: Tamale, Northern Region. 主要都市(アクラ)から500キロ					
③ 事業規模及び内容: アフリカ開発銀行, ガーナ農業開発銀行, バンクレ銀行等の共同出資で穀物5万トンの生産及び精米, 販賣を行なう大規模な農業会社である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ほ場約1000エーカー, トラクター20台, 普通型エンバイン15台, 精米プラント, パーボイルプラント, 他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Senior Staff					
② 技術の範囲: 水稲栽培の指導					
③ 業務の形態: 種籾用のほ場管理を担当し, 栽培, 品種管理等の指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 高年程度中には農業経験大者もいる。					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター, エンバイン, ほ場管理用作業機					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1リゲジョンほ場を作り, 日本の栽培技術を導入しようと考えている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒(農学科)又は農業試験場等の研修コース修了者, 土壌改良等の知識を有し, 稲作以外農業全般に知識を有する者, 農業機械の操作不能は者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 4 月 24 日

調査者氏名 笹子 実

103 園芸作物

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) HORTICULTURE (日本語) 園芸作物	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF SOCIAL SERVICES (日本語): 社会福祉省 SCAPPED MEN "KARUNASEYANA"					
② 隊員勤務先名称: TRAINING CENTRE FOR SOCIAL HANDI 日本語名称 ( ) 所在地: RIDIYAGAMA 主要都市 (ゴール) から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: SOCIAL HANDICAPPED MEN AND WEMEN に 初歩的 社会教育を与えること。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教育					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 収容者 600人 (男性 15歳-70歳 450人、女性 150人) に対し 農業訓練を行うこと。収容者は最低2ヶ月から最高2年毎位。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: AGRICULTURE OFFICER 年齢不明 男性 及び その ASSIST.					
⑤ 現地で利用できる機材: 有					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: シンハラ語 タミル語 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○男性 ○専向学校 大学卒者のみ。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

SEP. 15. 1983

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名 笹子 実

103 園芸作物

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Horticulture (日本語) 園芸作物	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	59年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: } 日本語名称( ) 所在地: } 未定 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲: 園芸作物全般					
③ 業務の形態: 配属校に於いて生徒に週約15時間の講義を行うこととなる。授業以外のいわゆる課外活動も行う場合があるかも知れない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: センダリ-スクール生徒男女年齢は15才~18才。カウンターパートはいない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 有。VSOボランティアが英語教員に多い。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大学卒)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 7 月 4 日

104 花 き

調査者氏名 松本 伊佐雄  
篠崎 泰昌

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Floricultura	新規	(男) 人	59 年 8 月	
	(日本語) 花卉	交替	(女) 人		
			(男女不問) 1 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Recursos Naturales  
(日本語): 天然資源省

② 隊員勤務先名称: Sub Region de La Esperanza 日本語名称(イスパランサ支局)  
所在地: イスパランサ 主要都市(イスパランサ)から 3 キロ

③ 事業規模及び内容: 普及部門, 人的資源部門, 試験研究部門, 農場があり, 当プロジェクトは農場を使用し試験研究部門に属する。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農場(29ha), 宿泊施設, 事務所, 食堂等

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 当プロジェクト, 花卉部門の責任者

② 技術の範囲: 当国の輸入品目ごとのカーネーション, 菊の完全な自立栽培を目的とし, エキストも行った技術。

③ 業務の形態: 農場設計, 品種導入から運営までのおすべて。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 当国では花卉栽培を専門に学んだ人間はいないので農学部(農業)の学生を指導しながらカウンターパートとするしかない。

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況: American peace coop, Swiss Mission

⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 受入の背景 - 当プロジェクトは日本政府から天然資源省への補助金の有効な使用のために実施された。これを無駄にすることなく模範農場を設立, 維持するために隊員が常時配置されることだ望ましい。受入国の期待 - 責任と行動をとることを期待はないと考える。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 以下は絶対条件である。

カーネーション, 菊の苗生産に始まる栽培全般に熟練していること。おそれず, 西品種の栽培も自覚としてやる能力のある人。普通自動車免許

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜栽培	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Office of the Governor of Abra (日本語): アブラ州府					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( )					
所在地: バンゲッド・アブラ 主要都市(マニラ)から約410キロ					
③ 事業規模及び内容: アブラ州内での野菜栽培の技術普及					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 州府直属の野菜栽培技術者					
② 技術の範囲: 各種野菜の栽培方法及び採種・配種に関する技術・知識を有すること					
③ 業務の形態: BAE(農業改良局), BPI(植物産業局), B.S(工機検定局)の技術者と 協同して、同州内で栽培されている野菜の選定と栽培方法の普及活動に 当たる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は州内の農民であるが、BAE BPI 等の職員、学生と大学であり技術・知識水準は高くはない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現地に適した作物の栽培技術普及に及ぼるところから現地で 入手できる種子、農薬、肥料の使用が望ましい。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語及びイロカ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
同州は山岳地帯であり、野菜は、これまで他州からの輸入に依存しており、同州での 消費される野菜は自給に達しないのが目標で、隊員が要請されることにより、 中環洋行隊員の支援。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
野菜栽培についての業務経験があり、応募が望ましい。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 9月 14日

調査者氏名 平沢昭男

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Advisor (Cash Crops) (日本語) <del>食用作物</del> (野菜)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	57年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地整理統合公団 (Felera)					
② 隊員勤務先名称: Felera, In-situ Teratak, Batu 日本語名称( ) 所在地: Batu 7/2, Jalan Pasir Putih/Macang; 主要都市 (Pasir Putih) から 13 キロ					
③ 事業規模及び内容: Pasir Putih, Kelantan 大分県分庁 Felera は 4 種類の事業を推進している。①州レベルでの開発に類似した国土の開発②現在耕作地の階梯地の開発 ③開墾地の開発 ④現存耕作地の再開発と再植の4つで隊員は					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): この4番目の開発地には、耕作地は約10-15、20、22アールであるが、本要請の開発地は22アールほどのことに果樹の主体となっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 入植地マネージャー直属の農業普及員					
② 技術の範囲: 現在栽培している技術はマヤバツ、トウモロコシ等と主体として野菜栽培技術であるが、コーナツ等の技術も十分活用している。					
③ 業務の形態: Pasir Putih の入植地内で入植者の生活向上を目的に換金作物の栽培、入植地事務所運営や農場(中には入植者が参加)での野菜類の栽培指導にあたる。この農場は言わばデモンストラティブ圃場も兼ねており、入植者に対する野菜栽培の啓蒙にも使われている。現在は、トウモロコシ、マヤバツの主に栽培しているが、トウモロコシ、マヤバツ、ナス等を試験的に植付し、その結果を見ながら栽培にあたりたい。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特定のカウンターパートはいない。農場の運営は入植地事務所職員が参加するが、主な対象は入植者である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 農業用資材、機材は最低限揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: マレー語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在村本主司隊員(56/2次隊)が活動中である。村本隊員の活躍により入植者の野菜栽培に対する意識の昂揚が見られるが、農場運営や規模の拡大は現在、この一代では終わらなければならない。交替隊員の要請が土壌に起因している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴不問、農業、特に野菜栽培についての豊富な経験と技術が必要であること。筆種は2割の要請に従って食用作物として、筆種内容から判断して野菜として栽培しても良いと思われる。要は経験のある隊員が良い。					
※ 事務局記入 単車運転免許取得の者 13					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 4 月 20 日

調査者氏名

平沢 昭 男

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ズルーズ	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜栽培	新規 交替	(男) 6 人 (女) 人 (男女不問) 人	59 年 4 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (日本語): 連邦土地開発公団					
② 隊員勤務先名称: 5ヶ所の入植地への要請があるが、誰か 日本語名称( ) 所在地: 5ヶ所入植地はそれぞれ異なるが、赴任前には決定する。主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: Fieldaはズル半島の南西部に開墾し、そのうち、オランダに植えた入植地を造成している。 入植者は5ヶ所ズル人で、半島内に3000所以上ある入植地10ヶ所あたりの世帯数はおよそ200~400。収穫後のオランダは総じてFieldaを通じて出荷される。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各入植地にはFielda事務所と農耕用となる車輜若干がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 入植事務所での野菜栽培普及員					
② 技術の範囲: 野菜の播種から収穫までの栽培指導全般。熱帯で栽培可能な野菜類の栽培試験と実際の栽培方法を指導すること。入植地でよく植えられるものに					
③ 業務の形態: トウモロコシ、サトウ、サヤ豆、サトウ、サトウ、サヤ豆等があるが、時期を見ながら換金作物として取り扱われる。野菜の指導が必要がある。 元々は入植者の自家消費用として家庭菜園的な圃場での指導が望ましいが、現在は入植地内に圃場を作り、自給的に野菜栽培を希望する入植者を対象として指導するようになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Fieldaからは一応カウンターパートがつけられるが、各々の年齢、学歴等詳細は現時点では不明。					
⑤ 現地で利用できる機材: 耕耘用にトラクターが利用される。灌漑ポンプも一応は提供される。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: ズル語 (簡単な報告書は英語でも可)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 前述したように、本来Fieldaが考えている野菜栽培普及は、家庭菜園等の小さな規模のものであるが、オランダにも、国際レベルの先進的であり、新しい換金作物としての野菜栽培に際しては高い技術がある。入植地には、例外なく、野菜の栽培法を知っている者がおらず、知識の発展の観点から、隊員による栽培の実践技術を指導する必要がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業短大卒以上、野菜栽培の実験経験(○印で囲むこと)は必須である。 経験は野菜全般、特に良いのはナスである。 単車運転免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 7月 14日

調査者氏名

105 野 菜

石川 尚男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年 2月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): BANGLADESH RURAL DEVELOPMENT BOARD  
(日本語): バングラデシュ農村開発局

② 隊員勤務先名称: BRDB SHARSA 日本語名称( )  
所在地: 主要都市(ダッカ)から 32 キロ

③ 事業規模及び内容: BRDB 婦人のための 1974年にスタートし農村婦人の社会的地位向上、農村生活向上を目的として、現在 40の郡に中央農協を中心にして女性組合を作りそれを核として

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Thana (郡) Project Officer がカウンターパート

② 技術の範囲:

③ 業務の形態: 郡中央農協(TCCA)を通じて農村婦人に近づく野菜栽培を主としたが、生活改善(衛生 保健 栄養等の知識)の普及活動を行う。普及方法は週1回のTCCAのホームグруппの指導、ミニストレーション農場の運営管理、各村に週1回行われるミーティング参加

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農村婦人は無学文盲がほとんど  
カウンターパートは Office work 中心で特に技術はない

⑤ 現地で利用できる機材:

くわ 鎌 鋤

⑥ 第3国人等の配置状況: 無

⑦ 使用する言語: バンガール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同教国への女性の活動には大きな制限がある(しかしこの国の人口の半分は女性であり、この女性労働力の活用が人にも問題と共に大規模な産業化問題とつながっている。生活改善と現金収入の道を作り出す必要があると期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

野菜栽培を中心とした中身の知識  
(生活改善のための)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 13 日

105 野 菜 調査者氏名 小松 紀司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Vegetable Cultivation (日本語) 野菜栽培	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59 < 3 月 58 < 10	

(1) 配属先 Ministry of Food and Agriculture, Dept. of Agriculture

① 配属先名称 (現地公用語): Vegetable Development Division  
(日本語): 食糧 農事務所, 農事務所, 野菜園整備

② 隊員勤務先名称: 農事務所 (日本語名称: )  
所在地: 幸違 主要都市 ( ) から キロ

③ 事業規模及び内容: 一別添 (寧) 参照のこと

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 自身の技術程度により相対的対応は III class officer 程度

② 技術の範囲: 野菜育苗から収穫まで。全プロジェクトを管理して行く。他にチームリーダーとして、相互に会話をもち、人内関係を

③ 業務の形態: 交代し、プロジェクト全体を上手に運営して行くことの役割の最前線条件である。(勿論野菜担当業務を兼ねる) 詳細は別添 (寧) 参照のこと。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: (寧) 参照のこと。同国農民がカウンターパートと見做して頂くこと。 (寧) 参照のこと。 (寧) 参照のこと。

⑤ 現地で利用できる機材: 必要に応じて、ネパール又は協力隊員が支援サポートする

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同プロジェクトを成功せしめたいという期待感がある。持込側としては、ネパール政府の支援の基に行うこと。成功の成り行き次第には、今後のネパール農事務所の手配に協力すること。また、他のプロジェクトのあり方についても再検討を要する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) (寧) 参照のこと (寧) 参照のこと  
ネパール国民 (野菜) 出身者希望。V.P または J.P class の力量と経験を有する者。 (寧) 参照のこと

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 5 月 1 日

調査者氏名 山口 徹

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) बिरौरी Vegetable (日本語) 野菜栽培普及	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58 年 10 月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture  
(日本語): 農業局

② 隊員勤務先名称: Horticult Farm Tribhuli 日本語名称(トリスリ園芸農場)  
所在地: マフコット郡ビトルドンチャヤト 主要都市(カマント)から約 80 キロ

③ 事業規模及び内容: 野菜に於いては 5 種類程の種子生産を行なっているが、ネパールの主産地ではない。さらに、主な敷地は トロピカルフルーツの生産に供されている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 3rd class Officer しかし 実際業務上はあまり関係がない。

② 技術の範囲: 高度な技術は必要ではなく、野菜作に關する基本的なかつ広く一般的な技術(栽培、種子生産)が要求される。

③ 業務の形態: 勤務地は名目上トリスリ農場であるが、実際は以下の 4 形態をとっている。

1. トリスリの普及所をベースにそのスタッフと共に周辺のビトルド、ベルコットの普及にあたる。

2. トリスリ農場の中で種子生産の実施を農場スタッフと共に行う。

3. カカニ地区においてトリスリ普及所ラニパウア支所を通じて普及にあたる。

4. カカニ地区での普及にあたる時、カカニ農場に借居を与えられるので、農場においても野菜生産を行なう。④ 1 と 2 は主に乾期であり 3 と 4 の年は雨期のオフシーズン

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: J.T. x J.T.A. (20才〜40才) カレッジの専攻コースを出ている。専門的レベルにはない。幾分の知識プラス経験のみである。

⑤ 現地で利用できる機材: インド製であればすべて購入可能である。しかし品質の点では良くないが、ネパールでの必要度はその程度でも可能なようである。又購入には時間がかかる事も付け加えておく。

⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし。

⑦ 使用する言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 主目的はマフコット郡の野菜の普及指導であるが、実際は村々にキッチンガーデンレベルの野菜作を育成すると言うものではなく、産地育成と言う考えが現場の普及所側にはある。又 1 人の隊員が郡内すべてを回る事も無理なので、その普及所の方式に従っている。さらに農業局側としても詳細な基本計画を持ち合わせてないようであり、現場の動きを見守っているようである。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):


資格: ○ 小型自二車運転免許

条件: ○ 野菜種子生産の知識、技術のあること。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 20 日

調査者氏名 駒澤 彰夫 

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Horticulturist	新規	(男) 各 12 人	59 年 8 月	
	(日本語) 野菜	交替	(女) 各 12 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture					
(日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Agricultural Development Dept. 日本語名称 (農業開発部園芸課)					
所在地: Addis Ababa P.O. Box 62347 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全国各州 (14 州) の農業開発の指導的部局として、 農業技術の改善、普及及び生産の増加にあつている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 特別な地位はないが技術指導者又はアドバイザーとなる。					
② 技術の範囲: 野菜栽培の技術指導が主となるが、時に熱帯果樹、柑橘類についてもアドバイス求められることがある。					
③ 業務の形態: ○ 各州に出張し、出発の ADD デモンストレーションファームや農業組合農場、個人農家で指導する。 もしくは ○ 1~2 の州を受け持つかつ特定デモンストレーションファームや特定組合における集中指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業専門学校卒 25 歳位 理論的には知っているが実務経験が少いので全体的には低い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡易土壌検定器					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜の適地増産を目差しており、早期派遣が望まれている。 昭和 56 年の派遣された隊員 (2 名) の評価が高く、隊員への期待は非常に大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学農学部卒 程度 1~2 年の経験も有る者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 28 日

調査者氏名

原田 聡

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Horticulture	新規	(男) 1 人	59年10月	
	(日本語) 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農業省
- ② 隊員勤務先名称: Agricultural office 日本語名称 (農業事務所)  
所在地: Coast Province, Kilifi District, Malindi Sub-District 主要都市 (Mombasa) から 120 キロ
- ③ 事業規模及び内容: Malindi Sub-District 内の農業開発。ハイブリッド改良種、休普及、換金果樹エゴ、ココナツ、バナナ、カニエツの園地、野菜栽培の普及、水の利用、Irrigation Programme の実行等。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 農業事務所, 官立圃場 1ha

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Horticultural Officer. マリニディ地区の野菜栽培普及担当。
- ② 技術の範囲: ナス、ヒマズ、トマト、キュウリ、スイカ、メロン、カボチャ、ニンジンのほかに、高温野菜の栽培。
- ③ 業務の形態:
- 官立圃場での野菜の苗づくり
  - オートバイで農家巡回
  - 普及員と協力して栽培普及

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農民はせいぜい小学校卒程度、普及員は高卒以上の短大卒。技術水準低い。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 上司の許可があれば Land Rover の交通手段として使え、ポンプが2台あり、ディーゼルエンジンも2台あり、軽く。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし
- ⑦ 使用する言語: スワヒリ語、英語、部族語 (キツヤマ語)

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中でも特にコースト地区の農業の発展が望まれている。野菜は手早く現金に換えられるので農民の栽培意欲は高い。しかし細かい栽培技術、病虫害に関する知識、施肥方法など知らない農民、普及員が多い。収穫物の運搬方法、組合の組織化などの課題も多く残っており、協力隊員に対する期待は大きい。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 仕事をする際、野菜の栽培技術は心得ていなければならない。学歴、実務経験は問題ではないが、ケニアは学歴社会なので最低でも大卒程度を望む。農業改良普及員の資格くらいあれば、特に電撃打撃の資格はない。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 1 日

調査者氏名 熊野秀一

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Vegetable Growing	新規	(男) 人	59年10月	
	(日本語) 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農業省
- ② 隊員勤務先名称: Assistant Agricultural office 日本語名称(農業事務所)  
所在地: P.O.Box 2, Kithimani 主要都市(ナイロビ)から 100 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 約 80km<sup>2</sup> あり Yatta Division 内の農業開発。かんがい施設が整  
備された地域では、甘藷、芋、カボチャ(以上輸出用)、キャベツ、トマト、マウリ、さつまいも等が  
植付られ栽培されている。かんがい施設のない地域には、大豆、豆類、ソルゴム等が栽培されてい
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農業事務所、園芸圃場

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 普及担当の野菜技術者
- ② 技術の範囲: 上述した野菜類の栽培に関する技術
- ③ 業務の形態: 農民への技術普及とその国の植付圃場管理
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農民は小学校卒業程度の学歴で、普及員は高  
卒以上の大卒程度、技術水準は高くはない
- ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、くわ、三本くわ、ハベル、レーキ、一輪車、噴霧器等

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: スワヒリ語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 種類は限られているが輸出用野菜のマーケットは拡大されて  
いるが、恩恵を受けているのは少数の農民であり、資金、技術のない大半の農民への技  
術普及のため、協力隊員に対する期待は大きい

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業改良普及員の資格があるか、学歴、実務経  
験は同じであるが、当国の社会的背景により、できれば大卒以上の望ましい

※ 事務局記入



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8 月 7

ザンビア

105 野菜 交替

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Instructor of Vegetable Growing	(男) / 人	訓練開始 年
	(日本語) 野菜栽培指導員	(女) 人	派遣予定 年
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development

(日本語): 農業・水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Center for Horticultural Training 日本語名称 (ザンビア園芸訓練センター)

所在地: P.O. Box 525 Kalulushi Kitwe 主要都市からの距離 (キルウェより 22キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当事業所は1962~1966年にかけて Kafue 川一帯を基盤とする多目的な農業調査プラン「ファラ灌漑プロジェクト」の一環として設立された。その後FAOの資金・技術援助のもとに5か年契約で運営された後、1975年当国政府に移管され、野菜栽培、果樹栽培、灌漑の3部門を有する「ザンビア園芸訓練センター」として今日に至っている。敷地 70ha (灌漑地 38ha, 未灌漑地 32ha, うち実際に耕地化されているのは 7haのみである。) 年間平均雨量 1300mm 程度、カピシより南西 14km, Kitwe の田より 22km に位置し、校長以下 6名のスタッフ、5名の技術者、2名の農業アシスタント、52名の worker がいる。他にFAOより Chief 技術顧問 (ベルギー人) 灌漑専門家 (ノルウェー人) 各1名がいる。1981年度予算は 50万 Kwacha (1億5千万円)

ニ. 設備概要: 教室、宿泊施設、図書館、食堂、発電機室、倉庫、水揚げポンプ (8インチ、2台) 農機具修理工場、養鶏場、貯水槽 (5万m<sup>3</sup>)、スプリンクラー、事務所、他に各種訓練用試験場を有している。

(添付写真参照)

(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: Vegetable Growing Instructor (野菜栽培指導員)

② 技術的範囲: 野菜栽培の实地指導をいりながら学材においても、農作物生理学、肥料及び堆肥、雑草除去、病害虫駆除、種子、作物生産管理のシステム化、市場問題といった、かなり高度な内容に及ぶ専門的知識にも精通していること。③ 業務の形態: 各州農業委員により選ばれた生徒に対してザンビアの国情に最も適する

プランを立てカリキュラムを組む短期コースを設立し、講義と実習を含めた指導を行なう ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 既に Secondary School を卒業し (学力は低い)、各地で農業に従事した経験をもつ者のうち各州毎の農業委員により選ばれた18名前後が指導の対象となる。彼らの水準は低い、カウンターパートは2名。現在のところ正しい技術、新しい知識を教える者がいないので水準は低く、彼らと育てあげることも重要な業務の一つとなる。⑤ 利用できる機材: トラクター、その他必要最低限度の農機具は一通揃っている。⑥ 外国人: 現在のところなし ⑦ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: FAO 援助のもとに立派な設備を持つ当訓練センターが栽培インストラクターのいないまま、低迷しつつ今日に至った。国の農業政策と相まって、こうした設備・機具をフルに活用し、土壌、水、品種 (子種) 等、野菜栽培の基礎学問を通じた实地応用面での指導を強く望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 農業系大学卒で野菜栽培専攻

② 現場経験 5年以上 ③ 卒業免許 ④ 英語堪能 ⑤ てきめは教授経験者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 日

調査者氏名

小瀬川 修

105 野 菜



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Vegetable Growing	新規	(男) 1 人	59年8月	
	(日本語) 野菜	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development

① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture

(日本語): 農水(省)開発省 農業局(東部州)

② 隊員勤務先名称: Kasinga Settlement Scheme 日本語名称(カシंगा・パイロット計画)

所在地: Jumbo 主要都市(チバ)から80キロ

③ 事業規模及び内容: チバの北西部、ルンガ川に沿っての900haをSchemeとして設置し、新規開拓者をつくり、その定着を計ろうとするものである。1981年入植がスタートし、現在8名の定住者がある。最終的には900ha全てを耕地化し、90人を定住させたいとしている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): オフィス1部屋

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Settlement Scheme Adviser (定住促進事業相談員)

② 技術の範囲: 入植に関わる諸問題(入植の可否、土壌の良否、栽培上の問題、資本全般にわたってのアドバイザーである。農業技術、経営等将来を見通した能力が要求される)

③ 業務の形態: 農家巡回を通して彼らの経営上、技術上の問題点を聞き、あるいは見出し、その解決をはかる。トラクターの要請、ローンの相談、主作物(トウモロコシ、ヒマワリ、ソルガム)に限らず、野菜等自給食糧の確保のための技術指導、その他生活上の問題についても相談がある。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は様々である。無学歴者から警官の退職者まで色々である。カウンターパートは農業短大卒で、この道22年のベテラン。

⑤ 現地で利用できる機材: なし / 技術水準は低い

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: 英語及びニヤンジャ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同パイロット計画は東部州農業局が行なっている農業開発計画の1つであり、農民を定着させて(当国ではShifting Cultivationが多い)、食糧の増産と民生の安定を計ろうとしているものである。隊員には農民への直接の指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

- 1 農業短大卒以上、農業大学校卒
- 2 実務経験2年以上が望ましい。

※ 事務局記入

海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 10

105 野 菜

調査者氏名 生井年緒

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者数
セネガル	(現地公用語) Maraichage (日本語) 野菜栽培	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年7月	
(1) 配属先 (Secrétariat Exécutif des CER)					
① 配属先名称(現地公用語): Secrétariat d'Etat à la Promotion Humaine (日本語): 地域住民育成庁 農村近代化センター局					
② 隊員勤務先名称: Centre Expansion Rurale 日本語名称(農村近代化センター) 所在地: Kabrousse (カザムスリ) 主要都市( )から8					
③ 事業規模及び内容: 所長及び専門職員5名(農業, Ziguinchor) 畜産, 森林, 漁業, 生活改良普及員)が構成され, 日本の農業改良普及事務所的存在である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所及び職員住宅(いわゆる“モデル農村”の建物)。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 野菜栽培の普及指導員。近隣の農村を巡回指導する。					
② 技術の範囲: 井戸の地下水を利用して, トマト, キャベツ, カブラワケ, ヒーミン, メロン, ニンジンを栽培している。					
③ 業務の形態: CER事務所の野菜栽培普及員として, 現隊員(福山昭, 56/2)の守備範囲である数ヶ所の集団圃場を巡回指導する。時として CERとは別組織の守備する現場を指導することも必要である。 個人栽培の農家もあるが, 都市よりかなり離れているので, 収穫物の販売先の問題もあり, 集団化による量の確保, 出荷等を容易にする方法を					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 取っている。 農村の婦人達が直接の対象となる。カウンターパートはいない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 野菜の種子も含めて, 金鋤や金助, 如雨露等ほとんどの機材が現地で購入可能である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 所在地近辺にピースコーヤシスター(カンツク)がいる。					
⑦ 使用する言語: フランス語(公用), 現地住民とはデヨラ言語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜作りは乾期の農家の副業として主婦を中心としてグループで行なわれている。今後の課題としては収穫物の販売を組織的に行う等流通体制の整備を如何に行なうか, またそれに必要な輸送手段の確保をどうするかといったことである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>野菜栽培経験2年以上</u> , 農業改良普及員資格					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 1 日

調査者氏名 生井年緒

105 野

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Maraichage	新規 交替	(男) 1 人	59年10月	
	(日本語) 野菜栽培		(女) 人		

(1) 配属先

(Secretariat Executif des CER)

① 配属先名称(現地公用語): Secretariat d'Etat à la Décentralisation

(日本語): 内務省地方分権振興庁農村近代化センター局

② 隊員勤務先名称: Assistant Régional des CER 日本語名称(農村近代化センター)

所在地: Louga 市

主要都市(DAKAR)から193 キロ

③ 事業規模及び内容: ルーガ州庁舎内に所長以下4~5名の職員と事務所を持つ。農業畜産、水産、生活改善、森林等各分野の技術者が各省から出向している。他に獣医師の隊員が活動中。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 特になし。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 農業担当職員

② 技術の範囲: 野菜のみならず農業全般にもなる幅広い知識が必要である。

③ 業務の形態: 州内の農村を巡回し、農業協同組合による野菜栽培プロジェクトを指導する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は農民。カウンターパートは少ないが農業担当職員がいる。

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。しかし現地購入は可能。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし。

⑦ 使用する言語: フランス語, ウォロフ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

セネガルは食料の輸入が多く国内自給体制の確立が早くから主張されているが砂漠化の問題もあり必ずしも期待どおりに進んでいる。こうした中で野菜の栽培普及は比較的進んでおり技術の向上に寄せる期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

2~3年以上の経験

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和58年9月16日

調査者氏名 小寺 浩

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) maraichage	新規	(男) 1 人	59年7月	
	(日本語) 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先 Centre d'Expansion Rural Polyvalent

① 配属先名称(現地公用語): Secretariat d'Etat à la Décentralisation (C.E.R.P)

(日本語): 地方分権振興庁, 農村近代化センター局

② 隊員勤務先名称: C.E.R. de Gandiaye. 日本語名称( )

所在地: Arrondissement Gandiaye Niakhar-Saboun 主要都市(Kaolack)から26キロ

③ 事業規模及び内容: 各県より名出向しており、郡内の農業、漁業、生活等の分野において普及、組合活動の推進を行おうとする

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 職員宿舎兼事務所が4棟ある。

フリースタイル・バン1台

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 職員と同等。

② 技術の範囲: 農業全般に亘り幅広く知識を要する。専門的な理論よりも実践力が必要となる。

③ 業務の形態: モデル農家における見本園作りを主体とするが、農業学校、各農家での指導も行なう。

隊員は特に拘束されることはない。協力隊の趣旨に添った活動を捜して行なうことが望ましい。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は農民、仏語がわかるものは少ない。カウンターパートではないが、関係の知識はわりと高い。

⑤ 現地で利用できる機材: 主要部において、必要な農業資材は大体購入できる。配属先から機材供与を得ることは難しい。なお、本邦購入によるビニールハウス、かんがい機、防鳥網等は利用できる。

⑥ 第3国人等の配置状況: ヘルパー、アメリカ人等がいるが接触は少ない。

⑦ 使用する言語: 仏語、ウォロフ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 住民の野菜栽培に関する意識は低く、生産物もしばしば商人におさえられてしまっている。このため、野菜の関心をも高め、セネガル人独自による、現金作物の導入を目指している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験のあること。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 58 年 7 月 18 日

105 野

調査者氏名

益井悦郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
セネガル 共和国	(現地公用語) culture maraichère	新規	(男) 1 人	84 年 / 月	
	(日本語) 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Assistant Departemental de Centre d'Expansion Rurale  
(日本語):

② 隊員勤務先名称: Préfecture de Kolda 日本語名称(コルダ県庁)  
所在地: Kolda, Casamance (コルダ市、カサマンサ) 主要都市(ジガンジョー)から 190 キロ

③ 事業規模及び内容: 長期間に亘る予算不足の名の下に C.E.R. が「主役」になる事業は殆んど無く、都事務所に属する各々の所属する局の推用としている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 県庁舎内に事務所として一部屋。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 県事務局長と同程度(C.D.D. 県事務局長会議のメンバーの人)

② 技術の範囲: 業種は野菜であるがこの農業は二期(6月~9月)のトウモロコシ・落花生・粟・米が主役のため業種に拘らず広範囲に基礎的技術が必要。

③ 業務の形態: C.E.R. の県事務所の所員ではあるが、県知事の意向で県庁の職員、特に県の野菜栽培担当として他の県事務局長(上司である C.E.R. の長も含む)と同じく県全般を任されている業務は隊員のプロジェクトと県内に計画されたプロジェクトの協力を主としている。コルダ県は一市三郡あり、より効果的協力活動のために県を二つに分け二人の隊員を郡内の小さな村のプロジェクト協力を進める様にしていくつもり。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは無し。しかし(県内)のプロジェクトの担当職員をパートナーにする事は無い。

⑤ 現地で利用できる機材: 鋏・小シヤベル・スコップ・レーキ がある。村での仕事は殆んど一村にあるもので足りると思われる。すき・播種機・チリシ等牛・3馬に利用して現在使用している。現在協力している村ではモーターポンプも持っている。乾期栽培には十分な井戸が必要となる。

⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員以外は I.S.R.A. にフランス人(C.D.D. 2 数年要請拒否されている)

⑦ 使用する言語: フランス語 > フランス語 > マンデ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国際機関、先進諸国からの援助(特に日弁)やセネガルのプロジェクトを使って野菜・稲作等の普及が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): セネガルを愛する人

- ・ 農業者である事が望ましい。
- ・ C.D.D. のメンバーのため少々フランス語が他に必要である(したて)
- ・ 村での仕事は一時期は泊りがけになること性格的に向かない人

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 58 年 8 月 27 日

調査者氏名 河野文男 斎藤幸弘

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) Horticultura	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜	(女) 人	派遣予定 59 年 10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 59 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Educación Pública

(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: Dirección Regional de Educación 日本語名称 (教育省 カリタゴ支部)

所在地: カリタゴ en Cartago 主要都市からの距離 (首都より 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

小学校における農業教育, 栄養改善などを旨とする

ニ. 設備概要:

各小学校が畑 (200 ~ 2000 m<sup>2</sup>) を有する

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: Asesor (技術顧問)

② 技術の範囲: 栽培から採種までの理論及び実践

③ 業務の形態: 巡回指導 (小学校巡回)

研究 (教育省所有の畑 2ha にて採種プロジェクトを担当)

④ カリタゴレポート: 特定のカリタゴレポートはいないが, 全国の教育省指導員を対象とする。指導員の年齢は 30 歳前後, 学歴は農業高校卒程度, 実務経験は豊富である。

⑤ 機材: 農業機械以外の標準的道具

⑥ 母国語: 無

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小学校における農業教育をさらに充実させること。指導員の質の向上を図ること。輸入物に依存している種子の国内生産を奨励すること。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学農学部卒

○野菜の採種・育種に関する知識及び実務経験

単車運転免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 58 年 3 月 1 日

調査者氏名 表 巻 友 生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) 野菜	(男) 人	訓練開始 58年 10月
	(日本語) HORTICULTURA	(女) 人 (どちらでも可) 2人	派遣予定 59年 1月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA  
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: DEPT. DE ASIGNACION FAMILIARES (日本語名称)  
所在地: サン・ホセ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: HUERTA ESCOLARES 主要教科農業を通じて野菜を栽培せいの農業知識の促進と、学校給食の自給を図っている。研修地は中央高地若しくはグアナカステ地帯となる予定。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: asesor 指導員
- ② 技術の範囲: 小学校教師及び生徒を対象に一般野菜(葉根菜、果菜)に関する栽培指導を行なう
- ③ 業務の形態: 各小学校を巡回、農業のクラスにアテンドしアドバイス又は直接指導する。定期的に開催される指導員に対し講習会も行なう。
- ④ 対象者: 小学校の農業のクラスを担当する教師及び生徒  
カウンター・パート: 農業高校卒で10年以上の経験を持つ(初代若狭隊員の場合)。理論面では深いとはあるが経験が豊富なため逆に隊員が教えられるケースがよくある。初代若狭隊員
- ⑤ 現地で利用できる材料: 各学校には火の炊器具が揃っているが、絶対的に数は不足している。
- ⑥ 才三国人: いなし。
- ⑦ 母国言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新政府のスローガンである「土に帰る」とともに、従来その能力を以てながら、主要五科目の一つ「農業」が注目され始めた。しかしながら農業の専門教師の数は少なく、他の科目の教師が兼任にあり、巡回指導員がこれを補助している。隊員はこのルーティ業務の他、彼ら巡回指導員のレベルアップにも貢献することを期待され、初代の若狭隊員はこれを着実にこなしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学農学部 園芸学科

○単車免許



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 16 日

調査者氏名 大橋 秀雄, 藤崎 泰昌

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
HONDURAS	(現地公用語) HORTICULTURA	新規	(男) 人	59年4月	
	(日本語) 野菜栽培	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先 CONSEJO SUPERIOR DE PLANIFICACION ECONOMICA					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE RECURSOS NATURALES					
(日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: ESCUELA NACIONAL DE AGRICULTURA 日本語名称(国立農業学校)					
所在地: CATACAMAS カタカマス 主要都市(首都)から 2/0 キロ					
③ 事業規模及び内容: 本校は面積約150ヘクタールを有し、サモラにありパナアメリカ農業を本に創設された学校である。野菜果樹、一般作物(トウモロコシ、米、インゲン豆など)、家畜(牛、馬、豚、にわとりなど)一般教養(生物学、化学など)以上四つの部門に分かれている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 野菜部門は面積約5ヘクタールを有する。小規模下であるが生物学、化学及び土壌の実験室を有する。その他食堂、学生及び教師用の宿舎がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 野菜実習教師					
② 技術の範囲: 野菜の栽培実習の指導。スペイン語能力が向上した段階で、野菜の授業を担当する可能性がある。					
③ 業務の形態: 1年生を対象とした朝6時30分から10時30分までの野菜栽培実習の指導。午後は必要に応じて、カウンターパート、労働者(2名)とともに野菜の栽培及び畑の管理など。収穫した野菜は学校の食堂に供給されているがもし過剰に生産された場合は、付近の町へ販売に行く可能性がある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 指導の対象者は約18から22歳ぐらいまでの学生。カウンターパートは国立大学農学部を卒業した女性(26歳)。栽培についての知識に乏しく、技術水準は高くない。					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、小型耕運機、農薬噴霧機など					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在、家畜(牛)、土壌、病虫害の分野に計3名のアメリカ合衆国のボランティアがいる。					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本校の予算は十分ではなく、そのため野菜部門の唯一の目的は生産を上げ、全寮制である本校の食堂の需要を満たすことにある。本校において重要な野菜はトマト、キャベツ、ピーマンであるが熱帯地域に位置するため、病虫害が非常に多く十分な生産が上っていない。そのため計画的な作付と効果的な病虫害の防除による生産性の増加が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学で栽培経験が1年以上の者が望ましい。特に病虫害についての知識が望まれる。かなりのスペイン語能力を要するため、派遣後も自主的スペイン語学習が必要とされる。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 58 年 7 月 5 日

調査者氏名 梁谷孝夫, 篠崎泰昌

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Horticultura	新規	(男) 人	59年4月	
	(日本語) 野菜	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): *Ministerio Recursos Naturales*  
(日本語): 天然資源省
- ② 隊員勤務先名称: *Sub-region La Esperanza* 日本語名称(エスペラサ支局)  
所在地: *ラ、エスペラサ* 主要都市(エスペラサ)から 3 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 支局内には普及部、試験研究部、人的資源部、試験場があり、試験研究部の中に、ラ、エスペラサ農業計画が入っている。農地、約 24ha、主に、トウモロコシ、豆、ジャガイモの研究所。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各事務所及び食堂、研修棟、宿舎棟、修理場、倉庫がある。現在、新事務所、修理場、倉庫を建設中。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技師 (*ing agronoma*)
- ② 技術の範囲: エスペラサは高原なので、高原野菜の栽培の比較試験、及び各種試験、新しい野菜の導入、栽培技術改善、採種、品種改良。
- ③ 業務の形態:  
デモンストラシヨと農業計画の中の野菜部内の担当として、ホンデュラス人のカウンターパートと、栽培を行ない、各種、データを出し、後に、各普及、人的資源部と協力して、農民に普及する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

対象者は農民、カウンターパートは現在本宿に 2 人選中。

⑤ 現地で利用できる機材:

一応、野菜に必要な機材はある。又、必要な機材はプロジェクト予算として、下りる予定である。

⑥ 第 3 国人等の配置状況: スイス、アメリカ、イギリス、WHO.

⑦ 使用する言語: スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ラ、エスペラサは、高原なので、農民の野菜栽培は盛んである。そこで品種、品質、技術の改善によって、より生産を高めようとしてプロジェクトに組み込まれた。よってホンデュラス天然資源省は、野菜生産増加によって、国内消費をまかなひ、栄養改善に役立てたいと考えている。その期待は大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

普通乗用車運転免許。経験、3~4年。出来れば、採種の出来る人。試験場にて働いた事のある人。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 9月 18日

105 野 菜

調査者氏名 北 中 真人  
赤星 剛 昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Horticultura	新規	(男) 1人	59年 7月	
	(日本語) 野菜栽培	<del>交替</del>	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Escuela Agricola Panamericana					
(日本語): パンアメリカン農業学校					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( )					
所在地: El Zamorano 主要都市(首都)から 37キロ					
③ 事業規模及び内容: 1941年創設 中南米14ヶ国に約250名の生徒がまき おり、3年制で全寮制の農業学校である。教授陣も各国から紹介されており、 優秀である。中南米では最高の農業教育機関といわれている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
校舎、農場(4250ha)、畜舎、図書館、各種実験室、寄宿舎等すべてそろっている。					
(2) 隊員の業務内容: 主として1年生対象に野菜栽培に関する農場実習、圃場管理にあたる。					
① 隊員の業務上の地位: 農場実習のインストラクター					
② 技術の範囲: 野菜栽培全般に対する深い技術力と知識力、広大な農場の 管理力。					
③ 業務の形態:					
午前4時～午後4時程度の野菜栽培の農場実習。午前、午後各20名の生徒 を指導する。実習内容は苗床から移植、施肥等至るに及ぶ。ただ単に作業を命じる だけでなく、生徒たちに野菜栽培の技術、高度な知識まで実際に促し、伝えね ばならない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は1年生であり高成績卒業生であるため 理解が早い。(17才～22才)、 <sup>現在</sup> パルサー(24才)のカウンターパートが一人、優秀である。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
トラクター、スプリングロー、播種機、小型トラック等。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 中南米をはじめ、世界各国から来ている。アメリカンコースターもいる。					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
インターナショナルな教育機関にふさわしいインターナショナルな教官の導入 による教育の交流と新しい技術の紹介。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(大学農学部卒) 野菜園芸専攻、実際栽培の経験者、栽培の 経験がない場合は研修の必要あり。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和59年9月12日

調査者氏名 ハウグアイ駐在員

花田真人

105 野 業

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Horticultura	新規	(男) 1人	59年7月	
	(日本語) 蔬菜	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

(1) 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería  
(日本語): 農牧省

(2) 隊員勤務先名称: Agencia de Servicio de Extensión Agrícola Ganadera 日本語名称(農牧省農林部 普及事業所)  
所在地: Coronel Oviedo 主要都市(アスンシオン)から130キロ

(3) 事業規模及び内容: エコル・ロドリゴ地区の綿、バナナ、パイナップル等栽培農家への技術指導、養豚等の畜産指導及び農村婦人対象の生活改善(栄養、衛生等)指導を行っている。

(4) 設備概要(写真添付が望ましい): 平屋建て事業所、ソーラー台、バイク一台。

(2) 隊員の業務内容

(1) 隊員の業務上の地位: 普及事業所職員

(2) 技術の範囲: 蔬菜全般に関する知識、特にツヤガイン栽培が主となる。中でも播種時期決定、施肥、農薬散布などが肉見となっている。

(3) 業務の形態:

地区内蔬菜栽培農家の巡回指導という形をとる。中でもツヤガイン栽培に関する指導中心。週一回、普及事業所内で会議が開かれ、その週の活動方針等を決定。

(4) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート = 女

(5) 現地で利用できる機材: クワ、ツヤバル等若干の農器具。

(6) 第3国人等の配置状況: 好し。

(7) 使用する言語: スパイン語、クアラニ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ツヤガイン栽培は近年その生産量、消費量共に伸びているが、そのほとんどがブラジルからの輸入にたよっているのが実情である。現在、栽培面積拡大、収量増加により自国生産増をほがらしている段階である。二代目の隊員が活動中であるが、現地人スタッフには、この方面における専門家も少なくその存在に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 実務経験 3-4年 ○ 必ずしも大学卒の必要はない。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 6 月 10 日

調査者氏名 駒形光彦

105 野 菜

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Horticultura (日本語) 園芸(野菜栽培)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年 / 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Servicio de Extensión Agrícola Ganadera (S.E.A.G.) (日本語): 農牧省 農牧普及公団					
② 隊員勤務先名称: Agencia de S.E.A.G. de La Colmena 日本語名称(農牧普及公団ラ・コルメナ)事業所 所在地: La Colmena, Dto. de Paraguari 主要都市(アスンシオン)から 130 キロ					
③ 事業規模及び内容: ラ・コルメナ地区及びその周辺地域の農家を対象とした、一般農業指導、畜産指導、生活改善を行なっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事業所(二階建)、ツープロー台					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 園芸技術指導員					
② 技術の範囲: トマト、ピーマン、メロン、玉ねぎの栽培技術指導、病虫害に対する予防と治療、及び農薬・施肥についての基本知識の指導。					
③ 業務の形態: 1. 園芸家グループ活動の指導。 2. 野菜の試作、及び実地への指導。 3. 園芸農家への個別訪問による技術指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 日本人農業者の技術水準はパラグアイにおいてはトップクラス。カウンターパート無し。					
⑤ 現地で利用できる機材: 無し。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。 隣村にアメリカ平和部隊の員1名(男子) 音楽、体育の隊員各1名					
⑦ 使用する言語: スペイン語、クワラニー言語、日本語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ラ・コルメナは一年前、アスファルト道路が完成し一躍近郊農業地帯として注目されるに至った。消費者の品質・味覚に対する認識が高まり、良質の産物が売れやすくなって来た事、及びパラグアイ政府が外貨獲得の野菜・果菜輸出を奨励し、その為にも高品質農産物の生産を奨励するようになった事、等により当職種への隊員派遣に期待が非常に大である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ◎ 蔬果・菜栽培(特に上記トマト、ピーマン、メロン、玉ねぎ)に経験のある者。 ○ 2~3年の実務経験者で技術力に応用のきく者が望ましい(農業高等学校卒業者可)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 2 月 28 日

105 野 菜

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) MANEJO DE VIVEROS	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	INVERNADEROS DE PLASTICO	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 苗床指導 (ビニールハウス (プラスチック温室))	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIA (IBTA)

(日本語): ボリビア農業技術研究所

ロ. 隊員勤務先名称: Patacamaya - La Paz 日本語名称 (パカマヤ IBTA 研究所)

所在地: パカマヤ村 主要都市からの距離 (ラパスより 100 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 技術者 3 名 従業員 10 名 近郊農家 300 家程を指導

ニ. 設備概要: ジープ 3 台 トラック 1 台 宿泊施設 3 名 事務所

(2) 隊員の業務内容:

ビニールハウス栽培指導 維持管理  
 同地域には広大な土地があり 1 戸 1 人 耕作 出来ていない状況にある。  
 同地域の土地は 5 畝 程度 利用 するには 様々な 困難 を 伴う と思われ、  
 ラパス に 近く 市場性 が高い ので 是れ 開発 した 地域 である こと  
 従って 急ぎ なる 方針 と して 是れ なる こと により ビニール 栽培 指導  
 者 を 要 請 して 来た こと である。 ついては 市場性 を 調査 し 生産 を 求め べく  
 この 隊員 の 任務 と なる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在 急激に 経済 豊か 化 した こと により、同国 には 農業 開発 を  
 重要 課題 と して 取り組ん で いる。 従って 受入 国の 期待 は 大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業 高校 及び 大学 卒 (申請書 に 大卒 と 記載 されて いる から IBTA に 直接  
 届 出 せ ば 可 しい こと である)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和58年2月28日

105 野 菜

調査者氏名 川添浩正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) PRODUCCION DE	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	SEMIILLAS DE HORTALIZAS	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 野菜種子生産	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIO (IBTA)  
(日本語): ボリビア農業技術研究所
- ロ. 隊員勤務先名称: SIPES DE IBTA COCHABAMBA 日本語名称 (シパスイタ研究所)  
所在地: SIPES村 主要都市からの距離 (コチャから) 30キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 技術者4名 従業員0 近郊の1,000家庭を指導

ニ. 設備概要: シープ4台 事務所 宿泊施設2和分

(2) 隊員の業務内容:

同地域に於ける野菜種子生産技術の指導並に病理菌病の指導を望んでいる  
同地域は面積2000ha程度であり、就労環境も良く農産物の増産の可能性が大いである

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在急激(=経済変化が)すすんでおり、同国としては農業開発を重要課題として取り組んでいる。従って受入側の期待は大いである

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校から大学卒 (申請書には大卒と記載されるが直接IBTAに問合せると高卒でも経験豊富であれば可との事)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 58 年 2 月 28 日

調査者氏名 川添浩正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) MANEJO Y PRODUCCION DE HORTALIZAS	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜生産指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIA (IBTA)

(日本語): ボリビア農業技術研究所

ロ. 隊員勤務先名称: San Benito - Cochabamba 日本語名称 (サンベニット村 IBTA 研究所)

所在地: サンベニット村 主要都市からの距離 (コチャより 40 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 技術者 12 名 他従業員 20 名, 果物 (バナナ, リンゴ, なし等) を主とし指導。ただし小麦, 大麦の指導もしている。サンベニット村近郊の約 500 家族を指導している。

ニ. 設備概要: ジュゴ 4 台 事務所有 宿泊施設なし。ほとんどの従業員がコチャから公用車を利用し通勤している。

(2) 隊員の業務内容:

同地域ではほとんどの野菜栽培が行われていないため、同地域での栽培とみかた普及にゆいこと、隊員の主な業務となる。この他、野菜の病気の駆除、輸送方法等の指導も行っている (技術移転)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在、急激に経済悪化がすすんでおり、同国の命題として経済復興を行うための農業開発を重要課題として取り組んでいる。従って、受入側の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校 卒業していることと大学卒 (申請書には大卒と記載されているが、IBTA に直接由合せたとする高卒の経験が豊富であれば可との事)



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 58年 2月 28日

調査者氏名 川 添 浩 子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) MANEJO Y PRODUCCION DE HORTALIZAS	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜生産指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIA (IBTA)  
 (日本語): ボリビア農業技術研究所

2. 隊員勤務先名称: CHINOLI - BETANSUS POTOSI 日本語名称 (チリ) IBTA 研究所  
 所在地: ポトシ市 チリ村 主要都市からの距離 (ポトシより 400 キロ)

3. 事業規模及び内容: 技術者 10名 従事員 15名 3000家族と対象とした野菜指導  
 7ヶ, テコヤ ケバヨ等の地域の指導対象とする

4. 設備概要: 指導用ジープ 5台 トラック 2台 事務所 (バツス)

(2) 隊員の業務内容:

当地は海拔 4200m以上のところにあり 各地にセバ(野菜類) (化類) などの成長がおそい。従って高作をみつける他、野菜類の品種改良等並に病害虫の駆除等につき指導  
 又本人の持つ技術を移転する

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在急激に経済悪化がすすんでおり 同国としては農業開発を重要課題として取り組んでいる。従って受入側の期待は大きいものがある

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校 あるいは大学卒 (申請書には大学のみと記入し、直接 IBTA に紹介したところ経験豊富であれば高卒でも可とする)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 2 月 28 日

105 野 菜

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボツグイ	(現地公用語) MANEJO Y PRODUCCION DE HORTALIZAS	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜生産指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIO (IBTA)  
 (日本語): ボツグイ農業技術研究所  
 2. 隊員勤務先名称: IBTA - DEPARTAMENTO DE CRURO 日本語名称 (キロ-イタ研究所)  
 所在地: キロ-市 主要都市からの距離 (バスより200キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

キロ-市近郊の 800 家族に対し、農業指導を行っている  
 技術者 4 名 従業員 4 名

ニ. 設備概要: 指導用ジープ 4 台 事務所 (ただし宿泊施設なし)

(2) 隊員の業務内容:

当地は、海拔 4,000 m あり、平地に比べ野菜等 (作物の生育) の成長が早い。従って、適作をみつける。野菜類の品種改良等基盤に、病害虫の駆除等に指導。  
 又、本人の持っている技術を移転する。  
 なお、同隊員はキロ-市にあるイタ研究所で技術者として働くことになり、かつ、カウンターパートとしては、同研究所に在籍する 4 名の技術者となる。  
 カウンターパート 4 名は全然大平である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農村

広大な土地をもちながら輸入に依存する同国に於て是非農業開発をすすめることにより、自給体制を整えたいとの希望により、受入側の期待は大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校 あるいは 大学 農学部 卒であること (申請書には大卒のふり記載  
 されたい) 直接 IBTA に問合せたいこと (高卒の申請書でも可) の事)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 7 月 日

106 果 樹

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Pomology (Fruit Growing)	(男) 1 人	訓練開始 58 年 4 月
	(日本語) 果樹	(女) 人	派遣予定 58 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 58 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mountain State Agricultural College (MSAC)  
(日本語): 山岳州立農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: MSAC Pomology Project 日本語名称 (果樹プロジェクト)  
所在地: La Trinidad, Benguet 主要都市からの距離 (バギオより 6 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大学構内の約 5ha の圃場で、温帯性果樹の苗木生産及び果実生産を行っている。また MSAC 所有の山地約 350ha と開墾し、温帯果樹園を造成する。このうち既に 15ha は造成済み。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、器具室を備えた建物、グリーンハウス 2 棟。  
詳細は別紙の写真と参照された。

(2) 隊員の業務内容: Project 内に栽植されている温帯果樹 (各種カンキツ類、ブドウ、カキ、リンゴ等) の栽培管理とそれに伴う栽培技術の研究。上記果樹のうち、今後は温州ミカンと夏ミカンが中心になってゆく。その他に Agro-Forest Project の expansion にも関与する。

① 隊員の業務上の地位: Pomology Project 向けの技術者

② 技術の範囲: 温帯果樹の苗木生産から果実生産に至るまでの全般的な栽培知識とそれに伴う技術。特にカンキツ類に関する深い栽培技術と接木技術が要求される。

③ 業務の形態: 現在はカンキツとブドウの栽培管理が業務の中心であるが、交替隊員にはカンキツ類の苗木生産とその後の一般農家への普及活動が期待されている。ごくまれに、大学生を対象として授業を行うこともある。

④ カウンターパート: Mr. テイパイ (34 才)、MSAC 卒、同大学で修士号を修得。現在は園芸学の教授。温帯果樹栽培に関する研修をオーストラリアと日本で受けた経験もあり、人間的にも技術的にも非常に優秀な人物である。

⑤ 現地で利用される機材: 諸農機具、耕耘機その他、通常業務上は不自由しない。

⑥ 取場に於ける国人: JOCU (農業土木隊員) 1 名

⑦ 使用する言語: 漢語あるいはロカ語 (当地の英語水準はかなり高いので、英語だけでも可能)

(3) 受入希望の背景と受入後の期待: 山口明德隊員 (55 年 1 次果樹) の交替隊員として、Benguet 州の比較的冷涼な気候と利用して、当地に温帯果樹産業と育成しようというのが最終目標であり、現在は MSAC の Pomology and Agro-Forestation Project がその中心になって動いている。JOCU 隊員はこの計画の進行を技術的な面からサポートする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学 (農学部・果樹専攻) 卒、実務経験が 1 年以上ある人。あるいは、実務経験の豊富な人であれば、高卒でも可。特にカンキツ類の栽培に精通している人。

運転免許を取得していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

表 伸一郎

記入昭和57年8月9日

106 果 樹

調査者氏名 永井秀史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 58年4月6日
	(日本語) 106 果樹	(女) 人	派遣予定 58年8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre  
(日本語): 柑橘野菜種子研究センター

ロ. 隊員勤務先名称: Ishurdi Sub-Centre 日本語名称 (イシュルディサブセンター)  
所在地: Ishurdi, Pabna 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: イシュルディ地域農業試験場内に位置する柑橘類を中心とした4ヘクタールの柑橘野菜研究センター

ニ. 設備概要: 事務所、ワークショップ、倉庫、研究圃場 (灌漑設備有り)、職員宿舎、給電、給水設備、電話有り。

(2) 隊員の業務内容:

1) 隊員の業務上の地位: 主任研究員と研究員の中間。隊員の技術能力によっては、主任研究員と同等に存れる。

2) 技術的範囲: メインセンターより出される柑橘の研究テーマの遂行 (英文報告書提出義務有り) と柑橘を中心とした果樹の栽培管理 (施肥、病虫害防除、挿ぎ木、整枝剪定等) の指導。扱う果樹は、マダリン、スラットオレンジ、レモンライム、バタ、パパイヤ等。

3) 業務の形態: メインセンターの指示に基づき上記業務を研究員と共にこなす。

4) カウンタート: 柑橘の研究員が57年より野菜の研究員になり、現在、柑橘の研究員は空席

5) 現地で利用する機械: トラクター、耕耘機、動力ポンプ、肩掛噴霧器、台ばかり (2x8.50kg)、ゾーゴ

6) 職場における第3国人専門家: メインセンターに JICA 専門家4名 (1人/1人、柑橘1人、野菜1調整員1) がいるが、58年11月に全員帰国予定。

7) 依用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CVSRC は、Bangladesh Agricultural Research Institute (BARI) の一部門を拡充して、JICA 協力により設置された。(1977~1983年のプロジェクト)

隊員は、外国より導入した柑橘の栽培適応や現在在来柑橘の生産性向上をめざした試験研究及び普及に寄与することに期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学農学部卒が望ましい。資格・実務経験は特に問われないが、果樹栽培に関して、浅くとも広い知識が要求される。挿ぎ木技術を有することは不可欠条件。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

2

記入昭和58年3月15日

106 果 樹

調査者氏名 小松 紀司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) CITRUS CULTIVATION	(男) 3 人	訓練開始 59年 4月
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 内定者 1人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年 7月 受入期限 59年 7月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation  
 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture  
 (日本語): 食糧農業漁業省 農務局  
 2. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate 日本語名称 (東部開発農務局)  
 所在地: 東部地域 主要都市からの距離 (より キロ)  
 3. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画) はカトマンズを中心とする6地区で実施されている。現在、上地、長谷川、田舎各地方の治政中にある。

4. 設備概要:

- (2) 隊員の業務内容:
- ① 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。
  - ② 指定地区の地元農民を対象に栽培の経営を指導する。
  - ③ 地元農民に苗木、播種、育苗、施肥、灌水、剪定、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つき木等一連について、柑橘樹園経営者に対して取り扱、支柱、利合助、除草、施肥、灌水、剪定、病虫害防除、剪定等について指導する。
  - ④ 各地区の Junior Technician 又は Junior Technical Assistant の担任者として、対象は J.T., J.T.A. 地元農民とする。
  - ⑤ 衛生バカミ等
  - ⑥ 研修
  - ⑦ ネパール語

\* その他の業務として、一般農家(稲作、野菜)の指導の要求がある。果樹のみ業務には面白くはないが、果樹を中心とした指導の必要を感じている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの気候条件がかなり適当な栽培の適地であり、農民の現金作物としての市場を高い意向がある。技術者不足により本計画通り進まず、日本の先進技術を導入し、計画をより早く促進せよとの希望がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 学歴は同職の曾は実際には果樹園での栽培経験者(2年以上)の経験者が必要。同じ農学高校卒以上とする。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 29 日

106 果

樹

調査者氏名

中原正孝

6

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Grape Cultivation	新規	(男) 1人	59年7月	
	(日本語) ブドウ栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture					
(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局					
② 隊員勤務先名称: Western Regional Directorate 日本語名称 (西部開発農業局)					
所在地: Nepalganj (ネパールガンジ) 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: バルケ郡 バルケ郡をモデル地区とし、生食用ブドウ栽培を行ない、ネパール国内の自給作料を整える。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ブドウ普及指導員					
② 技術の範囲: 定規, 剪定, 育苗, 土壌管理, 病虫害防除を中心。					
③ 業務の形態: ネパールガンジ バカニ-ファームは新たに15haのブドウを中心としたファームを造成したが、このファームにおいて、育苗中心、またバルケ郡、バルケ郡 (40km x 80km) の範囲地域に果実用ブドウ栽培の栽培指導と Produce & Extension の比は、4対6の割合になる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 両地区各1名の Junior Technician がつく。対象はファーム内では J.T. 外では農民					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本プロジェクトは、日本人 JICA 専門家 近藤孝氏も参加している。生食用ブドウはネパールガンジ、加工用ブドウはマシナ地区に多産している。現在、バルケ郡、バルケ郡には産農家を中心に20haのブドウ栽培地であるが、来年度は計60ha、5年後には両郡合わせて200ha が計画されている。特に昨年度、木刈りした苗木がほぼ全滅した。新たに育苗、時刈り、収穫、苗木が順調に育つと、今後、果実用ブドウ栽培が広がるが、ネパール国内ではブドウ栽培を指導出来る					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 農業関係者は経験に不足しており、今回の要請として、農学系大卒、実務経験のあるものが好ましい。 ○自動運転免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 20 日

調査者氏名

駒澤彰文 (印)

106 果 樹

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Fruits Growing	新規	(男) 1 人	59年8月	
	(日本語) 果樹	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture					
(日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Agricultural Development Dept. 日本語名称(農業開発部園芸課)					
所在地: Addis Ababa P.O.Box 62347 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全国各州(14州)の農業開発の指導的部局。農業技術の改善, 普及及び生産の増加にめざしている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 特別な地位はないが、技術指導者又はアドバイザーとなる。					
② 技術の範囲: 柑橘類を中心に熱帯果樹(パパイヤ, マンゴー, パッパフル等)の栽培技術指導					
③ 業務の形態: ○ ADDのカウンターパートと共に各州に出張し、農業協同組合の農場や ADD付属デモンストレーションファームにおいて指導に当る。 ○ 在勤地 アディスアベバでは、出張報告書の作成や検討会議への出席などを行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農業専門学校卒 25 才位 理論は知っているも経験が少なく、全体的技術水準は低い。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語, アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は果物の種類が豊富で、生産も多い。しかしながらその栽培技術は農民の関心の割には低く乏しいものがある。隊員の協力により基礎技術の習得と適産地の選定が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学部卒程度 1~2年の経験を持つ者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 30 日

調査者氏名 JOCV/JICA 加盟事務所  
宮沢 俊作

106 果 樹

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) FRUITS GROWING	新規	(男) 1 人	59年10月	
	(日本語) 果樹栽培	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農業省
- ② 隊員勤務先名称: District Agricultural Office 日本語名称 (地方農業事務所)  
所在地: Kakamega 主要都市 (Kisumu) から 50 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 事務所付設の農場では Citrus, Mango, Avocado の苗木生産を行い 10人のワーカーが働いている。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):  
農場には倉庫と給水設備がある。圃場面積 10ha 程度。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: District Horticultural Extension Officer
- ② 技術の範囲: (Senior Staff)  
接木、農薬、肥料等の取扱い、剪定等の一般的技术。
- ③ 業務の形態:  
事務所付設農場でオレンジの苗木作りが主な仕事であるが、接木の時期を除いて事務所での仕事を殆んど無い。従って 20km は各 Division 毎の農家に対する技術指導が中心となる。  
その他 Technical Assistant と対象に講義を行っている。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートとしての Technical Assistant は高等教育を受けた程度で技術水準は低い。25才程度。

⑤ 現地で利用できる機材: 指導対象は農家で年令は広い。  
ハンドスプレーヤー、  
アワ、スリッパ、カシ

⑥ 第3国人等の配置状況: AXUカ平和初隊員 (APCs)、イリボリアン (ISOs)

⑦ 使用する言語: 英語、スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
ケニア本土に Green Disease が広がっており、ケニア人はその防除等取扱いを知り、指導の徹底が必要。JOCVに対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
実務経験 2年以上、接木(芽接、切接)ができること、カシキツ栽培に従事していた人が望ましい。専攻免許、学歴不問。

※ 事務局記入



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 日

106 果 樹

調査者氏名 中 垣 長 自 監

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンザール	(現地公用語) Fruit Growing (日本語) 果樹	新規 交替	(男) / 人 (女) / 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture Water Development (日本語): 農業水源(水)開発省農業局					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture, Western Province 日本語名称(西部州農業局) 所在地: Mongu 近(別の場所に移す可能性あり) 都市(Lusaka)から約600キロ					
③ 事業規模及び内容: 西部州農業局は農業水源(水)開発省の管轄下にある。同局は、作物一般、畜産生産と関係し、州農業局長以下200人の人員を擁する。うち40人が行政、160人が農業者及び従事している。同州は6つのDistrictに区分され、Districtは6つのSub-Districtに区分され、さらに					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 各Sub-Districtは各のCampに分けられ、各員が西に置かれている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 西部州農業局の果樹技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 温帯果樹一般に関する知識(リンゴ、みかん、梨、桃、葡萄、イチゴ、バナナ、アボカド、パイナップル、カニエツツ等)についての知識があることよりよい。					
③ 業務の形態: 西部州農業局の所有する果樹育苗圃場で全て苗木生産をいそから採集をみて農業への果樹普及指導を行う。同州農業局は現在、Mongu 近郊 (1ha), Kaoma (Mongu から 約 200km) (2ha), Lukulu (Mongu から 約 100km) (2ha) の3つの果樹育苗圃場を所有しており、Senanga (Mongu から 約 100km) にも同圃場を設置予定している。現時点では、その圃場を中心にするか未だ決定されていない。苗木は、カニエツツ、マニエツツ、カバ等の他に、リンゴ等の可					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Districtの長は、Form 5 卒業後3年の専門教育を(能得している)技術者及び員は、Form 3 or Form 5 (中学或高校)卒業、2年の専門教育を受けている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 防除用スプレーカーから1台ある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語, Lozi					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西部州は農業開発の遅れている地域であるが、国際河川ザンザール河川流域域を利用しての稲作の普及、果樹の生産(カニエツツ類、カニエツツ)、畜産面での牛豚等改良品種の導入、飼育技術の改善、カニエツツ調査等を重要課題としている。しかし、いまだにこれを実施するための技術者の不足に悩んでおり、故に隊員の協力を求めているものである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ● 農業大学校ありいは、短大卒業以上、実務経験2-3年あることが望ましい。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 日

調査者氏名 小瀬川 修



106 果 樹

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Fruit Growing (日本語) 果樹	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年8月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture (日本語): 農業水資源開発省、農業局					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture, Northern (日本語名称(北部州農業局)) 所在地: Kasama局 (Province) 主要都市(ルサカ)から850キロ					
③ 事業規模及び内容: (別の場所に移る可能性あり) 北部州農業局は農水開発省の管轄下にある。同局は作物一般、畜産生産と関係し、州農業局長以下50人の行政マンと150人の農業普及に従事する					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 人員を擁する。同州はいくつかのDistrictに区分される。さらにDistrictはいくつかのSub-Districtに区分される。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 北部州農業局のコーヒー(主として)技術アドバイザー					
② 技術の範囲: コーヒーに関する知識・技術。できればカンキツ類についての知識があるとよい。					
③ 業務の形態: 北部州農業局の所有するコーヒー育苗圃場で苗木生産をしながら機会をみて農家への技術普及指導を行なう。同州農業局は現在、小規模農家へのコーヒーの普及に力を入れており、そのために良質の苗木生産とりの西に布に重桌を置いている。一方、小規模ながらカンキツ類を栽培する農家が点在するので、このほうの指導も望まれている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 技術普及員は、Form 3 or Form 5 (中学の高校)卒業後、2年の専門教育を受けている。小規模農家の技術					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどなし ↳ 水準は低い。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、ベンバ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 北部州は農業開発の遅れている地域であるが、これから、稲作の普及、コーヒーの生産、畜産物生産、灌漑調査等を重要な課題として力を入れてきているところである。しかし、いずれもこれらを実施するための技術者の不足に悩んでおり協力隊員の協力を求めているものである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業大学校あるいは短大卒以上、実務経験2~3年以上あることが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和58年3月 日

106 果 樹

調査者氏名 中垣長晴

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Fruit Growing (日本語) 果 樹	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先 (Ministry of Agriculture & Water Development)					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture, Water Development (日本語): 農業水資源開発局, 農業局					
② 隊員勤務先名称: Kalulushi Farm College 日本語名称(カイルシ農科大学) 所在地: Kalulushi, Copperbelt Province 主要都市(Kitwe)から20キロ					
③ 事業規模及び内容: 大学の所有敷地面積約2690ha(未開墾地多し) 大学のTeaching Staff 10~12人 農場労働者55人(常勤) 学生数約52名(30名に/減らす計画, 果樹付園面積約0.5ha(カキツ樹中心))					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): トラクター(大型四輪)3台(うち2台U-マニパ型, 1台マッセル-パーク型)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 大学講師					
② 技術の範囲: 果樹(カキツ樹, リンゴ, モモその他温帯果樹)に関する栽培知識技術, その他野菜食用作物等に関する知識を有する事が望ましい					
③ 業務の形態: 大学の学生に対する授業(栽培実習②, 講義, 中心) ①おほい ②の比率は約半分づつ。学生は大学で2年間家に寄宿して学ぶので、対象の学生は、ほとんどのフルタイムが卒業して新しく学生が入ってくるまで同じ。(したがって、1年分と2年分が同時に存在する) 栽培実習は、学生の実習ということだけでなく実際に収穫を上げることも要求される。講義も行うので相当の英語力(英会話)が要求される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 学生は2年間専ら上り式。(卒業生は実際に農業を営む)					
⑤ 現地で利用できる機材: 果樹用はあまりそろっていない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学の校長は隊員が果樹を中心として、できれば野菜等の畑作も指導してくれることを望んでいる。中心知識と栽培実習を教えられる隊員がくると農場長に任命される可能性もある。校長は、隊員の学歴よりも栽培技術の实用性に重きを置いた人を選んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業大学校あるいは短期大学卒以上, 2-3年以上の実務経験を有する事が望ましい。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 20日

ザンビア

106 果 樹

立 替

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Instructor of Fruits Growing	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果樹栽培指導員	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development

(日本語): 農業・水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Center for Horticultural Training 日本語名称 (ザンビア園芸訓練センター)

所在地: P.O. Box 525 Kalulush-Kitwe 主要都市からの距離 (Kitweより 22キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当事業所は1962~1966年にかけて Kafue川一帯を基盤とする多目的な

農業調査プラン「フェア灌漑プロジェクト」の一環として設立された。その後FAOの資金・技術援助のもとに5年間契約で運営された後、1975年当国政府に移管され、野菜栽培、果樹栽培、灌漑の3部門を有する「ザンビア園芸訓練センター」として今日に至っている。敷地70ha (灌漑地38ha, 未灌漑地32ha, うち実際に耕地化されているのは7haのみである。) 年間平均雨量1300mm程度, カルシより南西14km, Kitweの田より22kmに位置し、校長以下6名のスタッフ, 5名の技術者, 2名の農業アシスタント, 52名のWorkerがいる。他にFAOよりChief技術顧問(ベルギー人), 灌漑専門家(ノルウェー人)各1名がいる。1981年度予算は50万クワツァ (1億5千万円)

ニ. 設備概要: 教室, 宿舎, 検閲図書館, 食堂, 発電機室, 倉庫, 水揚ポンプ(8インチ, 2台), 農機具修理工場, 養鶏場, 貯水槽(5万m<sup>3</sup>), スプリンクラー, 事務所, 他に各種訓練用試験場を有している。(添付写真参照)

(2) 隊員の業務内容: ①隊員の業務上の地位: Fruit Growing Instructor (果樹栽培指導員)

②技術の範囲: 当国はその気候条件から熱帯・亜熱帯果樹のみならず、温帯果樹のほとんどが栽培可能であり、肥料・堆肥・管理・病害虫等の基礎知識から育苗・選定・継木・摘果・品種改良等、実地栽培に及ぶまでの多面的な技術が要求される。特に熱帯果樹のバナナ、パパイヤ、マンゴ、カシューナッツ、ココ、温帯果樹のマンゴリン、オレンジ、レモン等の栽培に精通していることが望ましい。

③業務の形態: 各地で実地に果樹栽培とする普及員のうち、農業委員により選ばれた者に対し、実情に合ったプラン・カリキュラムを組む。短期コースを設定し、基礎から応用までを実地を踏まえて指導に当る。

④カウンターパートの技術水準: カウンターパートの知識・技術水準は低く、彼らに栽培全般について育成指導に当るのも重要な業務活動となる。

⑤利用できる機材: 故障しているものもあるが最低限の機材は揃っている。

⑥外国人: 現任のところなし ⑦言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 老朽化した機材の設備と、新しい技術の実際と手にとり教える見せにくさる者もないため、持てる能力の3割でなんとかやれている毎日である。こうした最も主幹をなす訓練センターの実情が国の農業振興政策と相まって、いかに将来の可能性と秘める分野として協カ隊に要請を求め、寄せた期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 農業大学卒で果樹専攻
- ② 実務経験5年以上 (果樹園等で)
- ③ 単車免許
- ④ 英語堪能
- ⑤ 教授経験者が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 25 日

調査者氏名 金川 雅彦

112 き の こ

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
ネパール	(現地公用語) Mushroom	新規	(男) 1 人	1984年 7 月	
	(日本語) きのこ	(交替)	(女) 1 人 (男女不問) 1 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): スリ・パー・4・コ・サルカール・クリッツイ・マントラレーヤ・ヒギヤン・サカ  
(日本語): ネパール政府 農業省
- ② 隊員勤務先名称: Department of agriculture Division of plant 日本語名称 (隊局 植物病理課 きのこ研究室)  
所在地: 77ルタール Pathology Mushroom labora 都市 (カトマンズ) から 10 キロ
- ③ 事業規模及び内容: ツクリタケの種菌製造 (主要) では、1983年度は 2600本製造を目標としている。  
種菌製造能力はこれが限界である。人員は現在 8名
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 接種 雑務室 17、培地調整室、事務・来客応対室、ツクリタケ栽培室、ヒラタケ栽培室、ツクリタケのコンポスティグ及び栽培室を現在建設中)

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: third class officer
- ② 技術の範囲: 1) 実験室内及びその周辺: 無菌操作を主体とする微生物培養に関するごく初歩的な技術 2) きのこの調査、分類 (これは必須ではなく 受入希望2名のうちできれば)
- ③ 業務の形態: 1名は、この技術に通じていれば、よりよいということ  
1) 種菌製造、菌系の継代保存、ヒマラヤヒラタケの試験栽培 ツクリタケ、77ルターケの栽培法改善  
2) 野生食用きのこを主体とする調査

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: 24才 (女性) M.Sc. Botany (日本の大卒相当), J.T. (技術補佐) 24才 (男性) I.Sc. Agriculture (高卒相当)

- ⑤ 現地で利用できる機材: オート・クレーン、無菌箱、恒温培養器、(クリーンベンチは現在発注していて到着を待っていること)

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 植物病理課 (10社以上建て物) 内には日本人 (調査者) 1名のみ

- ⑦ 使用する言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

カトマンズ盆地内を主として ツクリタケ栽培が急速に伸びつつあり、種菌製造が需要に応えられなくなりつつある。そこで無菌操作を指導し、種菌製造能力を向上させなければならぬ。一つの主要な目標は種菌供給センターとして充分機能できるようにすることである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(無菌操作) 他は上記 (2) の②参照して下さい。生物専攻大学以上  
経験1年以上あれば  
きのこの栽培の経験が望ましい。

\* 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 5 月 30 日

調査者氏名 リマ事務所

115 病虫害

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) Plagas Control de Enfermedades y (日本語) 病虫害	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年3月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Educación  
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: Centro de Capacitación Campesino "Huaral" (日本語名称(ワリル農民訓練センター))  
所在地: Huaral, Provincia de Huaral, Departamento Lima 主要都市(リマ市)から 80 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 本訓練センターは独立した機構を有している訳ではなく、ワリル中央農協連合会の一部局として位置しており、文部省及び農業省の指導のもとに管内農民に対する農業技術の指導、各種教育対策等を実施している。対象地域はチンカイ・ワリル地区全域に及ぶ。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 連合会所有の設備として、事務所、倉庫、車輛6台、複聴覚機材(テープレコーダー、16mm映写機、スライド映写機)、コピー機、謄写版、製本機等がある。その他、各農協に修理工場、農機具、車輛等がある。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: チンカイ・ワリル中央農協連合会所属の普及技師
- ② 技術の範囲: 管内の主要作物: 果樹(柑橘、桃、ブドウ他)、野菜(トマト、ホウレンソウ、ジャガイモ、豆類他)、棉及びトウモロコシの病害虫の発生調査、並びに防除対策の立案、指導
- ③ 業務の形態: 対象作物が広範囲に亘り、しかも歴史的に機材及び資材の不足している農民が、実行し得る防除対策と考える必要があることから、実務経験が豊富であることが必須条件となる。  
展示農場を使用しての病害虫防除の実地指導、及び講習会の開催、並びに管内農家に対する巡回指導が中心となる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 連合会には病害虫専門の技師はいない。

農業会社等から販売促進を目的として指導が行われる場合がある。

⑤ 現地で利用できる機材: 連合会所有の農機具(トラクター、及び除草機、噴霧機等のアタッチメント)、各種農薬箱、但し、実験器具等は少ない。

(JICAの研修生として昨年)

⑥ 第3国人等の配置状況: なし、但し主任普及員は農協組織の研修の後訪任した

⑦ 使用する言語: スペイン語 (経験と有る)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: リマ市という大消費地向けの野菜、果物、鶏卵、鶏肉等の一大生産地とされているチンカイ・ワリル地区には、相対的に日系農家が存在していることとあり、全般的な技術レベルは比較的高い。しかし、農家間の技術レベルには大きなばらつきがあり、連合会としては各農家の全般的なレベルアップを図ろうとしているが、人材不足等のため、思うような指導を為し得ておらず、隊員の派遣要請となっているのである。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学卒以上

② 試験場又は普及所等での実務経験を有することが望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 0 月 25 日

116 土 壤 肥 料

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
コスタ・リカ	(現地公用語) Conservación de Suelos	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 土 壤 管 理	(女) 人	派遣予定 59 年 7 月 10 日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Tecnológica de Costa Rica (I.T.C.R.)  
(日本語): コスタ・リカ工科大学
- ロ. 隊員勤務先名称: 同上 Departamento Ingenieria 日本語名称 (農業工学科)  
所在地: カルタゴ市 Agricola 主要都市からの距離 (首都より 80 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

18 学科を擁する 4 年制大学 学生数 1,500 名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 技術指導顧問
- ② 技術の範囲: 土壌管理の講義カリキュラムの改革案提出  
土壌管理の実際方法企画
- ③ 業務の形態: 研究・指導 (大学内)  
巡回指導 (各プロジェクト)
- ④ 所属のパート: Prof. Rodrigo Mata 農学士, 30 才前後
- ⑤ 機材: 研究室器機
- ⑥ 仲間: 無
- ⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58年 2月 28日

116 土 壤 肥 料

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) CONTROL AGRICULTURA BIOLÓGICA	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業及び肥料病害研究	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGROPECUARIA (IBTA)

(日本語): ボリビア農業技術研究所

ロ. 隊員勤務先名称: Yungas - de Paz 日本語名称 (ユンカス研究所)

所在地: ユンカス村 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 5人の技術者、2人の従業者、200家族の養鶏業、農業従事者を対象として指導している。指導先はユンカス村、コロンの各村。

ニ. 設備概要: 指導用ジープ3台、事務所、宿舎施設2名分

(2) 隊員の業務内容:

農業に於ける動物肥料の使用法の指導。本国では化学肥料を輸入するだけの能力しかないので、結局動物肥料に頼らざるを得ない状況にある。

従って農業に於ける基本的肥料の利用を指導してほしいとの事。同地域はユンカス村に農業物と生産に於ける重要なポイントとして、この2つの側面をボリビア側と見れば是非とも同地域の開発を望んでいる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同国は現在急激に経済変化が起きていると見られ、同国には農業開発を重要課題として取り組んでいる。従って受入側の期待は大きなものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校の卒業生 (申請書には大卒と記載されているが、IBTAに直接問合せるとは、高卒の経歴豊富であれば可とする)



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58年 3月 11日

116 土 壤 肥 料

調査者氏名 川添浩正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) <i>Docificación y empleo de fertilizantes</i> (日本語) 灌漑、肥料使用法	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *COOPERACION REGIONAL DE DESARROLLO DE CHURKISACA*  
(日本語): チキサカ開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: チキサカ開発公社 日本語名称 ( )  
所在地: *La madona - スルー市* 主要都市からの距離 ( ) より (キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 技術者 2 従業員 7名 (Departament industrial)

ニ. 設備概要: チキサカ開発公社全従業員 510名、うち同セクションは 9名 (上記)  
車輛は全車で 2台ある。このうち 1部は必要に応じ使用。

(2) 隊員の業務内容:

チキサカ州全体を把握し、各地から集められた土壌等の分析と  
おこし、ただし、この土壌は、場所、採取日等と明記する必要がある。  
この土壌分析とおこした結果を日ごとに各肥料等の使用方法と  
指導し、増産を図っていくこととする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

広大な土地をかんがい農産物を一部輸入している現状を脱却する為の基礎分析  
の調査に多大な期待をよせている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 15 日

調査者氏名 小松 紀子

120 農業土木

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Agric Civil Engineer (日本語) 農業土木	新規  交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年 3月	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food, Agriculture & Irrigation, Dept. of Agriculture  
(日本語): 食糧農業灌漑省 農業局
2. 隊員勤務先名称: Agriculture Development Office, Ramachan  
日本語名称 (ラマチャン) 農業普及センター  
所在地: Ramachan District, Janakpur Zone 主要都市からの距離 (キロ) 約 100
3. 事業規模及び内容:

二. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容

- ① 山間地農民に対する生活向上を目的とした小規模村おこし技術導入
- ② 山間地農民に対する治水治水事業の技術指導及び普及活動
- ③ 村おこし技術を導入した展示場場の設置及び現場指導
- ④ 地域農民レベルにおける共同事業精神の育成
- ⑤ ジャナカプル県農業開発計画の遂行
- ⑥ 地域農民との融和

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地 ADO (農業普及事務所長) は JOCV 隊員の活動を熟知しており、親しい関係者 (省局レベル) は当地の地域開発に JOCV 隊員を大きく期待し、指導者として派遣を望んでいる。過去に同地域で活動した隊員の実績が高く評価されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業土木を学び、独創的な考えかたができる人。  
(学歴は大学である必要がある)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 / 日

調査者氏名 能野 秀一

120 農業土木

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Agricultur Engineering	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 農業土木	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先 Ministry of Higher Education					
① 配属先名称(現地公用語): Jomo Kenyatta College of Agriculture and Technology					
(日本語): ケニアの農工工学 高等教育者					
② 隊員勤務先名称: ケニアの農工工学 高等教育者 日本語名称( )					
所在地: P.O. Box 62000 Nairobi, Kenya 主要都市(ナロビ)から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農工業分野の開発に必要の「中堅技術者を養成する高等教育機関」 敷地 200ha。日本の無償資金協力による建物、校舎供与(計48棟内)完了。 1981年5月開校。現在学生を2人入学。農学部250名工学部340名計590名。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 日本人教師30名ケニア教師70名、計100名。 農工学部棟、実習工場、附属農場、学生寮、クラブハウス等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 本大学 講師(Lecturer)					
② 技術の範囲: 土質, 建設材料, コンクリート, 水利実験の指導及びこれらの講義					
③ 業務の形態: 講師12, 上記科目に関する基礎実験を学生に教え、その講義 する。加えて、測量、製図等土木工学に関する講義を行う。 週5時間(10時間程度)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 生徒: 高卒程度, 20才前後, 1クラス36名。 カウンターパート: 工学部/農業短大卒, 20才前後					
⑤ 現地で利用できる機材: 無償資金協力と技術協力の供与校材により、工学部には コンクリート, 水利, 測量, 建設材料に関する必要校材が整備されている。農学部 農業工学科には、IT機の基本物理性実験器具が揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア国内においては、農業土木教育者は、ナロビ大学の 内銷と、農業省管下にある程度の数に留まり、高等教育者管下にはほとんど おらずにあり という実情にあり、日本人スタッフの配置を強く希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 農業土木もしくは工学を専攻した大学以上。 ② 英語に一定の技術指導能力を有すること。					
※ 事務局記入					

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業土木

記入昭和 57年 9月 15日

調査者氏名 江畑 義徳 印

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
タンザニア	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始	年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定	年 月
	農業土木	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTERS OFFICE, REGIONAL DEVELOPMENT DIRECTOR'S OFFICE  
(日本語): 総理府 ムワンザ州南発局 MWANZA
- ロ. 隊員勤務先名称: REGIONAL AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 (州農業課)  
所在地: P.O. BOX 1484, MWANZA 主要都市からの距離 (ムワンザ市内)
- ハ. 事業規模及び内容: ムワンザ州小規模灌漑プロジェクトは6ヶ所あるが、現在4ヶ所を推進している。1ヶ所約80~200haを灌漑し、稲を中心とし、作物生産を予定している。灌漑設備の建設と圃場整備が業務内容である。
- ニ. 設備概要: 各現場にはポンプ、エンジン、パイプ等、事務所には車両2台、測量機器、製図機等が一式揃っている。タンザニア人のスタッフもいる。

**(2) 隊員の業務内容:**

1. 隊員の業務上の地位: ムワンザ州農業課、農業土木技師。
2. 技術の範囲: 水路建設(設計、施工、小型エンクリット水路、排水路等)ポンプ、エンジンの保守、ポンプ小屋等小型家屋の設計、施工、圃場整備の設計、行架橋造作等の知識が必要。
3. 業務の形態: ほとんどの現場において上記の業務をタンザニア人のスタッフと一緒に実施する。近隣の村人の交通、健康類の巡回管理等の業務もあり、その外生活も余儀なくされる。設計はムワンザ市内にある事務所で行う。
4. 対象者の状況: 農業短大の灌漑卒、技術者1名、ポンプ技師1名の配置されているが、技術レベルは低く、そのためにタンザニア人だけでは計画の推進は無理。
5. 現地で利用できる機械: 測量機器、製図機等があるが計画設計に拘束される問題は少ない。
6. 職場に居る外国人: 無
7. 使用する言語: スワヒリ語

ムワンザ州農業課にはJ.O.C. V隊員の6名派遣の上、土木部門の補成に5ヶ所(1ヶ所はポンプの保守)を要している。灌漑施設の設計、建設の施設完了後の管理運営も、他の隊員(土壌肥料)と共同で行っている。

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待:** タンザニアは農業中心の政策をとり、灌漑の重要性を認識しているが、現在の設備の乏しさに進展していない。協力隊員がこれらプロジェクトに派遣されると、早期完成し、栽培を軌道に乗せ、作物生産を増産させることが期待されている。  
(5ヶ所は高橋隊員、5ヶ所は青山隊員の支援を請)

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**
- 大学(農業工学科)卒
  - 取得資格は必要としないが、2-3年の実務経験は必要
  - 普通自動車運転免許は1425才必要